

**マジックコネクト
管理機能の利用手順
(アカウント管理者用)**

第 4.16.0 版

NTTテクノクロス株式会社

目次

1. 管理機能へログイン	3
2. アクセス履歴の表示	7
3. ユーザ管理	27
4. グループ化	72
5. セキュリティ	105
6. パスワードの変更（アカウント管理者）	115

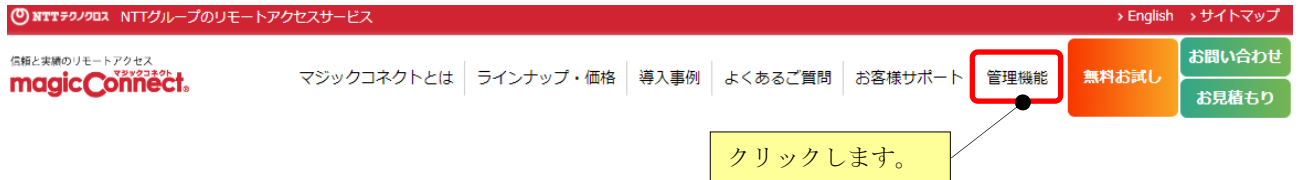
手元端末から、アカウント情報（ユーザ名・パスワード）が異なる会社の PC やサーバ、WOL コントローラ「MC3000」などへ接続する場合は、ご利用前に**グループ化の設定を行う必要があります。**

グループ化の設定については、「**4. グループ化**」を参照してください。

1. 管理機能へログイン

管理機能へログインする手順を説明します。

- (1) マジックコネクトホームページ (<https://www.magicconnect.net/>) より、「管理機能」をクリックします。



- (2) 「マジックコネクト(従来モデル)」の「サーバ」欄にサーバ情報を入力し、「ログインはこちら」をクリックします。サーバ情報はユーザアカウント一覧表に記載されています。

マジックコネクト・ネオ

より使いやすくなった新しいモデルで
以下の場合のみご利用可能です。

- ・マジックコネクト・ネオ[?]として契約
- ・従来モデル[?]の契約からマジックコネクト・ネオ[?]の契約へ移行

以下のインターフェース^{※1}を用意しております。

ビューアアプリ クライアントプログラム

「**ログインはこちら**」ボタンから管理機能画面に移動します。「**管理者用**」または「**一般ユーザ用**」のアカウント情報を入力し、ログインしてください。

\マジックコネクト・**ネオ**管理機能へ

ログインはこちら

マジックコネクト(従来モデル)

以前より提供しているモデルで、
以下の場合のみご利用可能です。

- ・マジックコネクト(従来モデル)[?]として契約

以下のインターフェース

ビューアアプリ クライアントプログラム

① 「サーバ情報」を入力します。
例：ユーザアカウント一覧表の記載が「asp1.magicconnect.net」の場合「asp1」、
「koma.magicconnect.net」の場合「koma」
…を入力します。

ご利用中のマジックコネクトサーバのホスト名を入力し、「**ログインはこちら**」ボタンから管理機能画面に移動します。「**管理者用**」または「**一般ユーザ用**」のアカウント情報を入力し、ログインしてください。

サーバ **例) asp1** magicconnect.net

\マジックコネクト(従来モデル)管理機能へ

② クリックします。

ログインはこちら

- (3) ユーザアカウント一覧表に記載されている「**管理者用アカウント**」を「ユーザ名」欄に、「管理者用アカウント」のパスワードを「パスワード」欄に入力し、[ログイン]を押します。

ユーザ認証

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名

パスワード

ログイン

① ユーザ名に「**管理者用アカウント**」を、パスワードに「初期パスワード」(または現在のパスワード)を入力します。

② [ログイン]を押します。

契約ID : 000000

MagicConnect ユーザアカウント一覧表

■サーバ情報			
対象機器用 アクセス先となる会社PCに設定するサーバ情報です。		***.magicconnect.net	ポート : 443
手元端末用 アクセスに使用するPCやタブレット、スマートフォンに設定するサーバ情報です。	Windows Mac	***.magicconnect.net:443	
	IOS Android	***.magicconnect.net	

■管理者用アカウント ※管理者向け機能を利用する際に用いる情報です。なお、このアカウントはマジックコネクトリモートアクセスには利用できません。

管理者用アカウント/初期パスワード[*1]	[管理者用アカウント]	[初期パスワード]
-----------------------	-------------	-----------

[管理者用アカウント] [初期パスワード]

(4) 下記の画面から、利用する管理機能を選択してください。

メニュー [アクセス履歴](#) [ユーザ管理](#) [グループ化](#) [セキュリティ](#) [パスワード変更](#) [ログアウト](#)

メニュー

ようこそ **account.admin** さん。

ログインした管理者用アカウントが表示されます。
説明例では、**account.admin** でログインしています。

このページは、MagicConnect契約アカウントのアカウント管理用メニューです。
ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

[ユーザ管理](#)

[グループ化](#)

[セキュリティ](#)

[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

注意) 下図の画面が表示された場合、管理機能へのログインに多要素認証が設定されています。ワンタイムパスワードによる多要素認証のセットアップで使用したスマートフォンにて、ワンタイムパスワードアプリケーションに表示される6桁の認証コードを入力して、ログインしてください。認証コードは一定の時間が過ぎると変化します。

多要素認証

ワンタイムパスワードアプリケーションに表示される6桁の認証コードを入力してください。

認証コード

[ログイン画面に戻る](#)

多要素認証については「5.2. 多要素認証」を参照してください。

以下の管理機能を利用できます。

メニュー アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化 セキュリティ パスワード変更 ログアウト

メニュー

ようこそ **account.admin** さん。

このページは、MagicConnect契約アカウントのアカウント
ご利用になりたいメニューを選択してください。

- [アクセス履歴の表示](#)
- [ユーザ管理](#)
- [グループ化](#)
- [セキュリティ](#)
- [パスワードの変更](#)
- [ログアウト](#)

アクセス履歴の表示
管理下の一般ユーザのアクセス履歴を閲覧できます。

ユーザ管理
管理下の一般ユーザのパスワードを変更、アカウントの接続条件を変更、アカウントロックを手動解除できます。

グループ化
管理下の一般ユーザの接続構成を閲覧・編集できます。

セキュリティ
本アカウント管理用画面にログインできる IP アドレスを制限できます。

パスワードの変更
管理者用アカウントのパスワードを変更できます。

ログアウト
管理機能からログアウトします。

注意) 上記画面は「管理者用アカウント」でログインした場合のメニュー画面です。
「一般ユーザ」でログインした場合には、下図のような機能制限された画面になります。

メニュー アクセス履歴 グループ化 パスワード変更 ログアウト

メニュー

ようこそ **user1** さん。

このページは、MagicConnectのユーザ情報管理用メニューです。

ご利用になりたいメニューを選択してください。

- [アクセス履歴の表示](#)
- [グループ化](#)
- [パスワードの変更](#)
- [ログアウト](#)

一般ユーザ用管理機能の利用手順は、「マジックコネクトクラウドサービス 管理機能の利用手順 (一般ユーザ用)」をご参照ください。

2. アクセス履歴の表示

本機能を利用することでユーザがマジックコネクトを利用した際のアクセス履歴を確認できます。

2.1. アクセス履歴を表示する	10
2.2. 認証エラーの履歴を表示する	14
2.3. ビューア・クライアント間の接続履歴を表示する	15
2.4. アクセス履歴を CSV 形式でダウンロードする	16
2.5. 利用時間を表示する	20

(1) アクセス履歴画面を表示させるには、メニュー画面からアクセス履歴の表示をクリックします。

メニュー [アクセス履歴](#) [ユーザ管理](#) [グループ化](#) [セキュリティ](#) [パスワード変更](#) [ログアウト](#)

メニュー

ようこそ **account.admin** さん。

このページは、MagicConnect契約アカウントのアカウント管理用メニューです。

ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

[ユーザ管理](#)

[グループ化](#)

[セキュリティ](#)

[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

クリックします。

(2) 表示させる月のリンクをクリックします。

アクセス履歴

全てを表示 **利用時間を表示**

クリックします。

[2017年2月](#) | [2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | **2018年1月**

2018年1月のアクセス履歴 (ビューア) を表示しています。

2018年01月31日 11時14分51秒

管理下のユーザの履歴をCSV形式でダウンロード

- [サーバへの接続履歴](#)
- [ビューア・クライアント間の接続履歴](#)

ユーザ:

種別	<input checked="" type="radio"/> ビューアのみ	<input type="radio"/> クライアントのみ	<input type="radio"/> ビューアとクライアント
認証結果	<input checked="" type="radio"/> 認証に成功した接続のみ	<input type="radio"/> 認証に失敗した接続のみ	<input type="radio"/> 全ての接続
拡張表示	<input type="checkbox"/> 接続先クライアントを表示	<input type="checkbox"/> 接続元ビューアを表示	

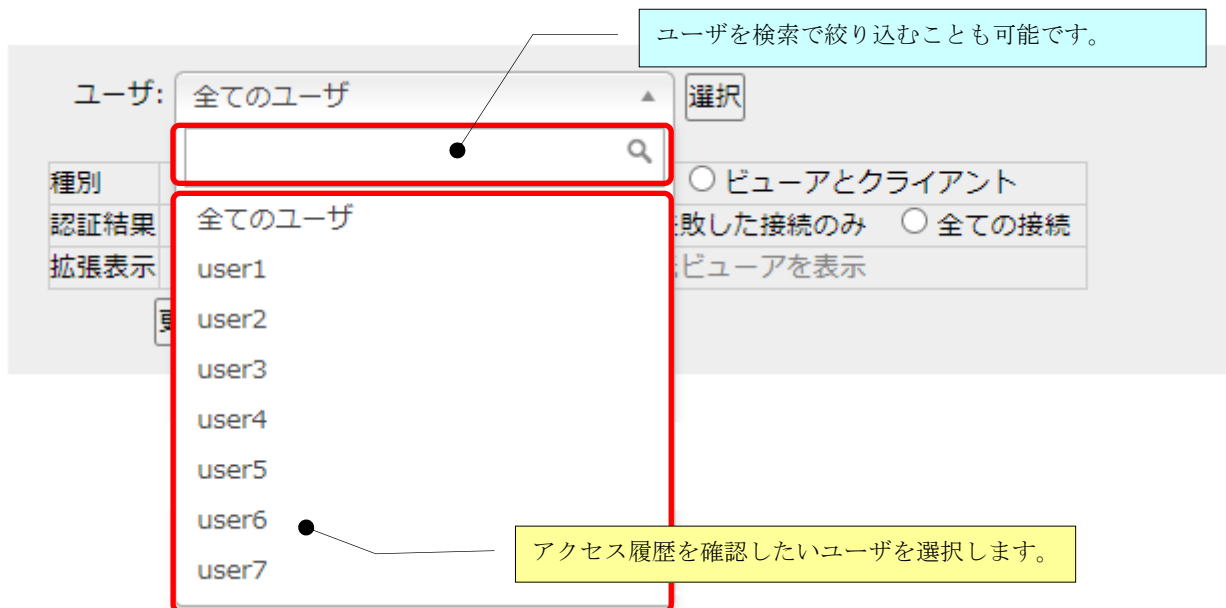
2.1. アクセス履歴を表示する

アクセス履歴を表示するための基本的な手順を説明します。

■ ユーザを選択する

アクセス履歴を表示したいユーザを選択します。テキスト入力により検索で絞り込むことも可能です。

「全てのユーザ」を選択することで、全てのユーザのアクセス履歴を同時に表示します。



■ ビューアの履歴のみ表示する

ビューア（手元端末で動作するプログラム）がマジックコネクトサーバへ接続した履歴のみを表示します。

この表示状態では、各行の背景色はすべて白色です。

③「ユーザ」の指定も可能です。

ユーザ: 全てのユーザ 選択

①「ビューアのみ」を選択します。

種別 ビューアのみ クライアントのみ ビューアとクライアント

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

更新

②[更新]を押します。

アカウント管理者	account.admin
アカウント 累計接続時間	13分 59秒
ユーザ	user.mc3000 user1 user2 user3 user4 user5 user6 user7
ユーザ名	user.mc3000
累計接続時間	0秒
接続開始時刻	接続終了時刻 ▲ 接続時間 接続元アドレス MACアドレス
ユーザ名	user1
累計接続時間	13分 59秒
接続開始時刻	接続終了時刻 ▲ 接続時間 接続元アドレス MACアドレス
01/23 22:01:05	01/23 22:01:06 1秒 198.51.100.1 A4:BA:DB:FB:E9:C8
01/23 22:01:52	01/23 22:15:49 13分 57秒 198.51.100.1 1C:AB:A7:C3:F7:C5
01/23 22:17:22	01/23 22:17:23 1秒 198.51.100.1 A4:BA:DB:FB:E9:C8

「接続元アドレス」は、ビューアが動作する端末のグローバルIPアドレスです。
「MACアドレス」はビューアが動作する端末のMACアドレスです。

■ クライアントの履歴のみ表示する

クライアント（対象機器で動作するプログラム）がマジックコネクトサーバへ接続した履歴のみを表示します。

この表示状態では、各行の背景色はすべて紫色です。

③「ユーザ」の指定も可能です。

①「クライアントのみ」を選択します。

②[更新]を押します。

アカウント管理者		account.admin	
アカウント累計接続時間		486 時間 42 分 51 秒	
ユーザ user.mc3000 user1 user2 user3 user4 user5 user6 user7			
ユーザ名		user.mc3000	
累計接続時間		70 時間 49 分 18 秒	
接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元
08/04 19:03:15	08/07 17:52:21	70 時間 49 分 06 秒	203.0.113.1 A4:BA:DB:FB:E9:C8
08/12 16:36:06	08/12 16:36:18	12 秒	203.0.113.1 A4:BA:DB:FB:E9:C8
ユーザ名		user1	
累計接続時間		298 時間 33 分 26 秒	
接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス
08/01 00:00:00	08/07 17:47:22	161 時間 47 分 22 秒	203.0.113.1 A4:BA:DB:FB:E9:C8
08/07 17:47:26	08/07 17:48:10	44 秒	203.0.113.1 A4:BA:DB:FB:E9:C8
08/07 17:48:14	08/08 18:24:48	24 時間 36 分 34 秒	203.0.113.1 A4:BA:DB:FB:E9:C8
08/08 18:25:28	08/13 10:34:14 [接続中]	112 時間 08 分 46 秒	203.0.113.1 A4:BA:DB:FB:E9:C8

クライアントの履歴のみ表示されます。

「接続元アドレス」は、クライアントが動作する端末のグローバル IP アドレスです。
「MAC アドレス」はクライアントが動作する端末の MAC アドレスです。

■ ビューアとクライアントの両方の履歴を表示する

ビューアとクライアントのそれぞれがマジックコネクトサーバへ接続した履歴を混在させて表示します。

この表示状態では、各行の先頭に「種別」の列が追加されます。

「種別」が「Viewer」の行は、ビューアの履歴です。この行の背景色は白色です。

「種別」が「Client」の行は、クライアントの履歴です。この行の背景色は紫色です。

③「ユーザ」の指定も可能です。

ユーザ: 選択

①「ビューアとクライアント」を選択します。

種別 ビューアのみ クライアントのみ ビューアとクライアント

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

更新

②[更新]を押します。

アカウント管理者		account.admin			
アカウント累計接続時間		34分 31秒			
ユーザ user.mc3000 user1 user2 user3 user4 user5 user6 user7					
ユーザ名		user.mc3000			
累計接続時間		0秒			
種別 接続開始時刻 接続終了時刻 ▲ 接続時間 接続元アドレス MACアドレス					
ユーザ名		user1			
累計接続時間		34分 31秒			
種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス
Viewer	01/23 22:01:05	01/23 22:01:06	1秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
Viewer	01/23 22:01:52	01/23 22:15:49	13分 57秒	198.51.100.1	1C:AB:A7:C3:F7:C5
Viewer	01/23 22:17:22	01/23 22:17:23	1秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
Client	01/27 08:26:54	01/27 08:27:11	17秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
Client	01/29 20:26:22	01/29 20:46:37 [接続中]	20分 15秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8

先頭列に「種別」が追加されます。

2.2. 認証エラーの履歴を表示する

マジックコネクトサーバの認証に成功した履歴だけでなく、認証エラーの履歴も含めて表示することができます。これより、認証エラーの理由を確認できます。

この表示状態では、各行の末尾に「認証結果」の列が追加されます。

- 「認証結果」が「成功」の行
認証に成功した履歴です。
- 「認証結果」が「失敗：」や「失敗（N回）：」で始まる行
認証エラーの履歴です。
「失敗（N回）：」は N 回の連続した認証エラーの履歴が、システムにより一つにまとめられたことを表します。
「：」に続くメッセージが「認証エラーの理由」を表します。

「認証エラーの理由」に対処する方法は、マジックコネクトホームページ（<https://www.magicconnect.net/>）より、[お客様サポート]-[マニュアル]-[ご利用中のトラブル関連]にある「[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#)」をご覧ください

アカウント管理者		accountadmin					
アカウント累計接続時間		629 時間 23 分 33 秒					
ユーザー		user.mc3000 user1 user2 user3 user4 user5 user6 user7					
ユーザー名		user.mc3000					
累計接続時間		0 秒					
種別	接続開始時刻	接続終了時刻	▲接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果	
ユーザー名		user1					
累計接続時間		513 時間 49 分 20 秒					
		↓ ユーザ user1 の末尾					
Client	09/01 00:00:00	09/03 19:18:37	67 時間 18 分 37 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	成功	
Client	09/03 19:21:57	09/11 03:25:57	176 時間 04 分 00 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	成功	
Viewer	09/11 20:11:58	09/11 20:11:58	-	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	失敗：EX, PROからの接続はユーザ管理により許可されていません。	
Viewer	09/11 20:12:31	09/11 20:12:31	-	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	失敗：EX, PROからの接続はユーザ管理により許可されていません。	
Client	09/18 08:09:25	09/22 15:52:43	103 時間 43 分 18 秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	成功	
Client	09/22 15:52:46	09/22 15:59:07	-	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	失敗 (100 回) : MCクライアントから送信されたパスワードと、サーバに登録されているパスワードが異なります。詳細	

最終列に「認証結果」が追加されます。

2.3. ビューア・クライアント間の接続履歴を表示する

ビューア・クライアント間の接続で利用された、リモートデスクトップや WOL 等のリモート操作アプリの履歴を表示できます。

④「ユーザ」の指定も可能です。

①「ビューアとクライアント」を選択します。

②「接続先クライアントを表示」及び「接続元ビューアを表示」にチェックを入れます。

③[更新]を押します。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	接続元ビューア or 接続先クライアント *																									
Viewer	08/04 18:58:42	08/05 17:58:44	23 時間 00 分 02 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	<table border="1"> <tr><td>user2</td><td>3389</td><td>08/04 18:59:25</td><td>08/04 19:00:02</td><td>208.0.113.1</td></tr> <tr><td>user1</td><td>3389</td><td>08/04 19:00:07</td><td>08/04 19:00:43</td><td>198.51.100.1</td></tr> <tr><td>user.mc3000</td><td>5009</td><td>08/04 19:03:21</td><td>08/04 19:03:45</td><td>208.0.113.1</td></tr> <tr><td>user.mc3000</td><td>5009</td><td>08/05 16:25:11</td><td>08/05 16:25:13</td><td>208.0.113.1</td></tr> <tr><td>user1</td><td>3389</td><td>08/04 19:00:07</td><td>08/04 19:00:43</td><td>198.51.100.1</td></tr> </table>	user2	3389	08/04 18:59:25	08/04 19:00:02	208.0.113.1	user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1	user.mc3000	5009	08/04 19:03:21	08/04 19:03:45	208.0.113.1	user.mc3000	5009	08/05 16:25:11	08/05 16:25:13	208.0.113.1	user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1
user2	3389	08/04 18:59:25	08/04 19:00:02	208.0.113.1																											
user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1																											
user.mc3000	5009	08/04 19:03:21	08/04 19:03:45	208.0.113.1																											
user.mc3000	5009	08/05 16:25:11	08/05 16:25:13	208.0.113.1																											
user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1																											
Client	08/01 00:00:00	08/07 17:47:22	161 時間 47 分 22 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	>>																									
Client	08/07 17:47:28	08/07 17:48:10	44 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	<<																									
Client	08/07 17:48:14	08/08 18:24:48	24 時間 36 分 34 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	<<																									
Client	08/08 18:25:28	08/15 03:23:18	152 時間 57 分 50 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	<<																									
Client	08/15 09:30:00	08/15 17:10:06 [接続中]	7 時間 40 分 06 秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8	<<																									

user1 累計接続時間 370 時間 02 分 38 秒

拡張表示される部分

接続元ビューア or 接続先クライアント *					
>>	user2	3389	08/04 18:59:25	08/04 19:00:02	208.0.113.1
	user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1
	user.mc3000	5009	08/04 19:03:21	08/04 19:03:45	208.0.113.1
	user.mc3000	5009	08/05 16:25:11	08/05 16:25:13	208.0.113.1
<<	user1	3389	08/04 19:00:07	08/04 19:00:43	198.51.100.1
<<					

[[<], [>]] は、操作の方向を示します。
 [>] は、左欄 (ビューア) から右欄 (クライアント) へ操作
 [<] は、右欄 (ビューア) から左欄 (クライアント) へ操作
 を表します。

左から順番に以下の情報を表します。

- 接続元ビューア/接続先クライアントのユーザ名
(異なるユーザ間の接続では、強調表示されます。)
- リモート操作アプリが使用したポート番号
(通常、リモートデスクトップの場合は「3389」、WOLの場合は「5009」です。)
- ビューア・クライアント間の接続開始日時
- ビューア・クライアント間の接続終了日時
- 接続元ビューア/接続先クライアントのグローバルIPアドレス

2.4. アクセス履歴を CSV 形式でダウンロードする

2 種類のアクセス履歴を、CSV 形式でダウンロードできます。

2.4.1. 「サーバへの接続履歴」を CSV 形式でダウンロードする

ビューア及びクライアントがマジックコネクトサーバへ接続した履歴を CSV 形式でダウンロードします。この履歴には認証エラーの履歴も含まれます。

アクセス履歴

全てを表示 **利用時間を表示**

[2017年2月](#) | [2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | **2018年1月**

2018年1月のアクセス履歴 (ビューア) を表示しています。

① 月を選択します。

2018年01月31日 11時14分51秒

管理下のユーザの履歴をCSV形式でダウンロード

- サーバへの接続履歴**
- ビューア・クライアント間の接続履歴

② 「サーバへの接続履歴」をクリックすると、ダウンロードが開始されます。

ユーザ:

③ 「ユーザ」の指定は不要です。全てのユーザが対象です。

種別	<input checked="" type="radio"/> ビューアのみ	<input type="radio"/> クライアントのみ	<input type="radio"/> ビューアとクライアント
認証結果	<input checked="" type="radio"/> 認証に成功した接続のみ	<input type="radio"/> 認証に失敗した接続のみ	<input type="radio"/> 全ての接続
拡張表示	<input type="checkbox"/> 接続先クライアントを表示	<input type="checkbox"/> 接続元ビューアを表示	

「種別」「認証結果」「拡張表示」で選択された内容は全て無視されます。

account.admin

■ 「サーバへの接続履歴」の項目について

「サーバへの接続履歴」 CSV ファイルの各項目を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Manager	アカウント管理者のユーザ名です。
2	User	ユーザ名です。
3	Type	ビューアとクライアントのどちらの履歴かを表します。 「Viewer」：ビューアの履歴 「Client」：クライアントの履歴
4	Start	接続の開始日時です。※1
5	Finish	接続の終了日時です。※1
6	Length	接続の開始から終了までの時間（単位は秒）です。
7	IP address	ビューアやクライアントが動作する端末のグローバル IP アドレスです。
8	MAC address	ビューアやクライアントが動作する端末の MAC アドレスです。※2
9	Login result	認証結果を表します。 「Success」：認証に成功した履歴です。 「failure」：認証エラーの履歴です。 「failure(N)」：N回の連続した認証エラーの履歴です。システムにより一つにまとめられています。例) 「failure(100)」
10	Failure reason	認証失敗理由を表します。

※1 日時のフォーマットは「西暦年-月-日 時:分:秒」（例: 2014-09-17 21:32:29）です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。（例: 2014/9/17 21:32）

※2 端末に有効な MAC アドレスが複数存在する場合（例: 端末に有線 LAN 機能と無線 LAN 機能の 2 つが存在する場合）、それぞれの MAC アドレスは縦棒「|」で連結されます。

Start, Finish, IP address, MAC address, Login result, Failure reason が全て空で Length が 0 の行が含まれる場合があります。これは、該当する月にそのユーザの接続が無いことを表します。

例) 「admin001,user003,Viewer,,,0,,,,」 ユーザ user003 のビューアによる接続が存在しない。

2.4.2. 「ビューア・クライアント間の接続履歴」をCSV形式ファイルでダウンロードする
リモートデスクトップやWOL等のリモート操作アプリによる、ビューア・クライアント間の接続履歴をCSV形式でダウンロードします。

アクセス履歴

全てを表示

利用時間を表示

[2017年2月](#) | [2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | **2018年1月**

2018年1月のアクセス履歴(ビューア)を表示しています。

①月を選択します。

2018年01月31日 11時14分51秒

管理下のユーザの履歴をCSV形式でダウンロード

- [サーバへの接続履歴](#)
- **ビューア・クライアント間の接続履歴**

②「ビューア・クライアント間の接続履歴」をクリックすると、ダウンロードが開始されます。

ユーザ: 選択してください

選択

③「ユーザ」の指定は不要です。全てのユーザが対象です。

種別	<input checked="" type="radio"/> ビューアのみ	<input type="radio"/> クライアントのみ	<input type="radio"/> ビューアとクライアント
認証結果	<input checked="" type="radio"/> 認証に成功した接続のみ	<input type="radio"/> 認証に失敗した接続のみ	<input type="radio"/> 全ての接続
拡張表示	<input type="checkbox"/> 接続先クライアントを表示	<input type="checkbox"/> 接続元ビューアを表示	

更新

「種別」「認証結果」「拡張表示」で選択された内容は全て無視されます。

アカウント管理者

account.admin

■ 「ビューア・クライアント間の接続履歴」の項目について

「ビューア・クライアント間の接続履歴」 CSV ファイルの各項目を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Viewer manager	接続元ビューアのアカウント管理者のユーザ名です。
2	Viewer user	接続元ビューアのユーザ名です。
3	Viewer IP address	接続元ビューアが動作する端末のグローバル IP アドレスです。
4	Viewer MAC address	接続元ビューアが動作する端末の MAC アドレスです。※1
5	Client manager	接続先クライアントのアカウント管理者のユーザ名です。
6	Client user	接続先クライアントのユーザ名です。
7	Client IP address	接続先クライアントが動作する端末のグローバル IP アドレスです。
8	Client MAC address	接続先クライアントが動作する端末の MAC アドレスです。※1
9	Dest port	リモート操作アプリが使用した接続先ポート番号です。 通常、リモートデスクトップの場合は「3389」が、WOL の場合は「5009」が使用されます。
10	Start	ビューア・クライアント間接続の開始日時です。※2
11	Finish	ビューア・クライアント間接続の終了日時です。※2
12	Length	ビューア・クライアント間接続の開始から終了までの時間（単位は秒）です。

※1 端末に有効な MAC アドレスが複数存在する場合（例：端末に有線 LAN 機能と無線 LAN 機能の 2 つが存在する場合）、それぞれの MAC アドレスは縦棒「|」で連結されます。

※2 日時のフォーマットは「西暦年-月-日 時:分:秒」（例：2014-09-17 21:32:29）です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。（例：2014/9/17 21:32）

2.5. 利用時間を表示する

ユーザのリモートデスクトップ利用時間を、以下の通り表示することができます。

- 選択したユーザの1ヶ月分の利用時間を表示する。
- 全てのユーザの利用時間を日ごとに表示する。
- 全てのユーザの利用時間をCSV形式でダウンロードする。

(1) アクセス履歴画面で「利用時間を表示」タブをクリックします。



2018年2月のアクセス履歴 (ビューア) を表示しています。

(2) 「利用時間を表示」画面に切り替わります。



2018年2月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。



ユーザ: user.mc3000 ▼ 選択

表示時刻: 2018年02月09日 16時12分26秒

日付	ユーザ名	利用時間	開始	終了	計
2/1 (木)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/2 (金)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/3 (土)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/4 (日)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/5 (月)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/6 (火)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-

2.5.1. ユーザごとに利用時間を表示する

選択したユーザの1ヶ月分の利用時間を表示します。

(アクセス履歴画面から「利用時間を表示」タブをクリックした直後は、この表示状態です。)

(1) 「ユーザごとに表示」を選択します。

アクセス履歴

全てを表示 **利用時間を表示**

[2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | [2018年1月](#) | 2018年2月

利用時間データダウンロード

2018年2月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。

ユーザごとに表示 日ごとに表示

ユーザ: user.mc3000 選択

「ユーザごとに表示」を選択します。

表示時刻: 2018年02月09日 16時12分26秒

日付	ユーザ名	利用時間	開始	終了	計
2/1 (木)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/2 (金)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/3 (土)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/4 (日)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/5 (月)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
2/6 (火)	user.mc3000	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-

(2) 利用時間を確認したいユーザをプルダウンメニューから選択します。

2018年1月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。

ユーザごとに表示 日ごとに表示

ユーザ: user.mc3000 選択

ユーザを検索で絞り込むこともできます。

利用時間を確認したいユーザを選択します。

日付	ユーザ名	利用時間	開始	終了	計
1/1 (木)	user1	3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
	user2	3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
1/2 (金)	user3	3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
	user4	3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
1/3 (土)	user5	3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
	user6	3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
1/7 (日)	user7	3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-

表示する利用時間の年月を変更する場合、「YYYY年MM月」をクリックします。

アクセス履歴

全てを表示 利用時間を表示 **クリックします。**

[2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | **2018年1月** | [2018年2月](#)

利用時間データダウンロード

2018年2月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。

ユーザごとに表示 日ごとに表示

ユーザ: 選択

表示時刻: 2018年02月09日 16時12分26秒

日付	ユーザ名	利用時間	開始	終了	計
2/1 (木)	user.mc3000		-	-	-
2/2 (金)	user.mc3000		-	-	-
2/3 (土)	user.mc3000		-	-	-
2/4 (日)	user.mc3000		-	-	-
2/5 (月)	user.mc3000		-	-	-
2/6 (火)	user.mc3000		-	-	-

利用時間が日を跨いだ場合、開始時刻または終了時刻の右横に「*」が表示されます。

(「*」にマウスカーソルを重ねると説明が表示されます。)

下図の場合、1/22(月)の利用時間が日を跨いでいる為、終了時刻が「24:00*」と表示されます。

1/23(火)は前日の1/22(月)から日を跨いでいる為、開始時刻が「00:00*」と表示されます。

1/21 (日)	user1		08:19	18:02	09:43
1/22 (月)	user1		08:19	24:00*	15:41
1/23 (火)	user1		00:00*	24:00*	24:00

2.5.2. 日ごとに利用時間を表示する

選択した日付の全てのユーザの利用時間を表示します。

(1) 「日ごとに表示」を選択します。

アクセス履歴

全てを表示 **利用時間を表示**

[2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | [2018年1月](#) | [2018年2月](#)

2018年1月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。

利用時間データダウンロード

「日ごとに表示」を選択します。

ユーザごとに表示 **日ごとに表示**

ユーザ: 選択

(2) 日ごとの表示に切り替わります。

2018年1月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。

ユーザごとに表示 **日ごとに表示**

2018年1月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水

表示時刻: 2018年02月09日 17時23分09秒

日付	ユーザ名	利用時間	開始	終了	計
1/25 (木)	user.mc3000		-	-	-
1/25 (木)	user1		07:51	22:31	08:47
1/25 (木)	user2		07:48	22:45	09:05
1/25 (木)	user3		07:58	22:32	08:49

利用時間を確認したい日付をクリックすると、確認する日付を変更できます。

2018年1月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。



表示する利用時間の年月を変更する場合、「YYYY年MM月」をクリックします。



2.5.3. 全てのユーザの利用時間を CSV 形式でダウンロードする

指定した年月の全てのユーザの利用時間を、CSV 形式でダウンロードすることができます。

(1) 「利用時間を表示」画面で「利用時間データダウンロード」をクリックします。

アクセス履歴

全てを表示 **利用時間を表示**

[2017年3月](#) | [2017年4月](#) | [2017年5月](#) | [2017年6月](#) | [2017年7月](#) | [2017年8月](#) | [2017年9月](#) | [2017年10月](#) | [2017年11月](#) | [2017年12月](#) | 2018年1月 | [2018年2月](#)

2018年1月の1日ごとのリモートデスクトップ接続時間を表示しています。

ユーザごとに表示 日ごとに表示

ユーザ: user1 選択

表示時刻: 2018年02月09日 16時14分51秒

利用時間データダウンロード

「利用時間データダウンロード」をクリックします。

日付	ユーザ名	利用時間	開始	終了	計
1/1 (月)	user1		07:43	22:43	09:15
1/2 (火)	user1		09:42	22:20	12:38
1/3 (水)	user1		04:41	15:02	10:21

(2) CSV ダウンロード画面に切り替わります。

アクセス履歴

全てを表示 **利用時間を表示**

全ユーザの利用時間データをCSVファイルでダウンロードできます。
ダウンロードしたい年/月を選択して、「利用時間データをダウンロードする」ボタンを押してください。

① 年/月を選択します。

年/月 2018年1月 ▼

② 「利用時間データをダウンロードする」を押すと、ダウンロードが開始されます。

戻る **利用時間データをダウンロードする**

■項目と表示内容を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Date	選択した年月の日付です。※1
2	User	ユーザ名です。
3	Start	リモートアクセス開始時刻です。※2 ※3
4	Finish	リモートアクセス終了時刻です。※2 ※3
5	Total	リモートアクセスしていた時間の合計です。※2

※1 日付のフォーマットは「西暦年/月/日」(例:2018/01/24)です。

※2 Start, Finish, Total に「-」が出力された行が含まれる場合があります。これは、該当する日にそのユーザの接続が無いことを表します。

例) 「2018/01/05, user001, -, -, -」 ユーザ user001 による接続が存在しない。

※3 Start, Finish の時刻に「*」が付いた行が含まれる場合があります。これは、日を跨いだ接続を表します。

例) 「2018/02/25, user002, 9:25, 24:00*, 14:35」 ユーザ user002 による接続が日を跨いでいる。

3. ユーザ管理

本機能を利用することで一般ユーザの設定を変更できます。

3.1. 一般ユーザのパスワードを変更する.....	30
3.2. 端末認証型やモバイルで利用する手元端末を変更する.....	33
3.3. プログラムの利用許可を変更する.....	36
3.3.1. プラスエディションにおいて、検疫機能の無いビューアを利用できるようにする.....	37
3.3.2. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)からも利用できるようにする.....	39
3.4. マジックコネクトを利用できるネットワークや端末を限定する.....	41
3.4.1. マジックコネクトを利用できるネットワークを限定する.....	42
3.4.2. マジックコネクトを利用できる端末を限定する.....	45
3.5. プログラムの機能制限を変更する.....	49
3.5.1. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を許可/禁止する.....	50
3.5.2. XDL エディション使用時にデバイス共有を許可/禁止する.....	53
3.6. 一般ユーザのアカウントロックを手動で解除する.....	57
3.7. 複数ユーザの設定をまとめて管理する.....	60
3.7.1. 「一括管理」画面を表示する.....	61
3.7.2. 一括管理の対象とするユーザを選択する.....	62
3.7.3. 一括管理する設定内容を変更する.....	65
3.7.4. 「個別管理」画面でユーザを管理する.....	69
3.8. ユーザが利用しているビューアとクライアントの種別とバージョンを確認する.....	71

以下の項目は、複数ユーザの設定をまとめて管理できます。

3.3.1. プラスエディションにおいて、検疫機能の無いビューアを利用できるようにする.....	37
3.3.2. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)からも利用できるようにする.....	39
3.4.1. マジックコネクトを利用できるネットワークを限定する.....	42
3.4.2. マジックコネクトを利用できる端末を限定する.....	45
3.5.1. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を許可/禁止する.....	50
3.5.2. XDL エディション使用時にデバイス共有を許可/禁止する.....	53

詳細は「3.7 複数ユーザの設定をまとめて管理する」を参照してください。複数ユーザの設定をまとめて

(1) ユーザ管理画面を表示させるには、メニュー画面からユーザ管理をクリックします。

メニュー アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化 セキュリティ パスワード変更 ログアウト

メニュー

ようこそ **account.admin** さん。

このページは、MagicConnect契約アカウントのアカウント管理用メニューです。
ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

ユーザ管理

[グループ化](#)

[セキュリティ](#)

[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

「ユーザ管理」をクリックします。

(2) ユーザ管理の「個別管理」画面が表示されますので、管理するユーザをプルダウンメニューから選択します。なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

ユーザ管理

個別管理 一括管理

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します。

account.admin 選択

ユーザを検索で絞り込むこともできます。

account.admin

user.mc3000

user1

user2

user3

user4

user5

user6

user7

管理するユーザを選択します。

(3) 選択したユーザの「個別管理」画面が表示されます。

個別管理

一括管理

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します。

user1

選択

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(NDL) 利用可能
	クライアント	利用可能
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更なし	
	<input type="radio"/> 変更する	
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する

更新

元に戻す

3.1. 一般ユーザのパスワードを変更する

パスワードは以下の条件を満たす必要があります。

- パスワードの長さは、8～255 文字であること
- パスワードは、半角の英大小文字と、数字または記号を含むこと

例：パスワード例と登録可否

パスワード	可否	説明
abCdefg2	OK	-
a1234567	OK	-
abcdefg%	OK	-
abc#def2	OK	-
1234567#	OK	-
Abcd2	NG	パスワードの長さが 8 文字未満のため
abCDEfgh	NG	パスワードの長さは 8 文字以上ですが、英字のみで構成されているため
12345678	NG	パスワードの長さは 8 文字以上ですが、数字のみで構成されているため

注 意

1. マジックコネクトサーバに登録しているパスワードを変更した場合、マジックコネクトサーバに接続中のビューアやクライアントには影響を及ぼしません。
新しいパスワードは、次回の接続認証から有効となります。
2. 一般ユーザには、クライアントに保存されているパスワードを、新しいパスワードに変更してもらってください。
変更しないと、マシンを再起動した場合、マジックコネクトを利用できなくなります。

なお、保存してあるパスワードの変更手順は、以下となります。
デスクトップのタスクトレイに表示されているマジックコネクトアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[設定] - [認証設定]を選択して、新しいパスワードを入力します。

さらに、「指紋認証型」「端末認証型」のマジックコネクトで、MCアシストを利用している場合は、MCアシストに保存してあるパスワードも変更してもらってください。
MCアシストに保存してあるパスワードの変更手順は、各クイックセットアップマニュアルの「自動接続ツール「MCアシスト」の利用」の項目を参照してください。

- (1) パスワードを変更する一般ユーザを選択し、「パスワード」欄にある「変更する」を選択します。
「新しいパスワード」と「新しいパスワード (確認)」の入力欄が表示されますので、新しいパスワードを入力して[更新]を押します。

ユーザ管理

個別管理 | **一括管理**

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理し

user1 ▼ 選択

中継管理サーバ magicconnect.net

ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(NDL) 利用可能
	クライアント	利用可能
パスワード	<input type="radio"/> 変更なし <input checked="" type="radio"/> 変更する	
	新しいパスワード
	新しいパスワード(確認)
(半角の英大小文字、数字、記号で、長さは8文字以上)		
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する

更新 元に戻す

①パスワードを変更する一般ユーザを選択します。
 なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

user1

 account.admin
 user.mc3000
 user1

②「変更する」を選択します。

③「新しいパスワード」と「新しいパスワード (確認)」に、新しいパスワードを入力します。

④[更新]を押します。

(2) パスワードの変更が正常に完了すると、「ユーザは正常に更新されました。」と表示されます。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

ユーザは正常に更新されました。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(NDL) 利用可能
	クライアント	利用可能
パスワード	*****	
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する

[戻る](#)

3.2. 端末認証型やモバイルで利用する手元端末を変更する

端末認証型やモバイルは、初回ログイン時にサーバに登録された手元端末以外からは利用できません。

手元端末を変更する場合は、本機能により、サーバに登録された端末認証情報を初期化したのち、新しい手元端末からログインしてください。

なお、初期化時にサーバへ接続中の手元端末は、接続を解除するまで利用を継続できます。

注 意

本機能により、「モバイル」契約のアカウントを、以下のように変更することはできません。

有償の契約変更が必要となります。

- iPhone/iPad、Android 端末で利用していたアカウントを Windows/Mac 端末で利用すること
- Windows/Mac 端末で利用していたアカウントを iPhone/iPad、Android 端末で利用すること

- (1) 手元端末を変更する一般ユーザを選択し、「端末認証 情報」欄にある「初期化する」にチェックを入れ、[更新]を押します。

ユーザ管理

個別管理 | **一括管理**

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します

user1

中継管理サーバ .magicconnect.net

ユーザ名 user1

ユーザ種別 一般ユーザ

プログラムの利用許可

ビューア	USB型(NDL) 利用可能
クライアント	利用可能

①手元端末を変更する一般ユーザを選択します。
なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

②「端末認証 情報」にある「初期化する」にチェックを入れます。

③下記のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

Web ページからのメッセージ

更新ボタンを押した後、サーバに登録されている端末認証情報が初期化されます。

OK

端末認証 情報

登録済み (初期化されます)	<input checked="" type="checkbox"/> 初期化する
----------------	---

パスワード

変更なし

IPアドレス制限

MACアドレス制限

モバイルビューアパスワード保存設定

Windows ログオンパスワードの保存を許可する

④[更新]を押します。

モバイル併用可能な端末認証型の場合

以下の画面のように「端末認証 情報」に「PC」「モバイル」と2つの行が表示されます。端末認証情報を初期化したい端末にチェックを入れてください。

- 「PC」は、Windows/Mac
- 「モバイル」は、iPhone/iPad、Android端末

端末認証 情報	PC	登録済み	<input type="checkbox"/> 初期化する
	モバイル	登録済み	<input checked="" type="checkbox"/> 初期化する

- (2) 端末情報の初期化が完了すると、「ユーザは正常に更新されました。」と表示され、「端末認証 情報」欄に「未登録 (初期化されました)」と表示されます。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

ユーザは正常に更新されました。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(NDL) 利用可能
		モバイル 利用可能
	クライアント	利用可能
端末認証 情報	未登録 (初期化されました)	
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
モバイルビューア パスワード保存設定	マジックコネクト ログインパスワードの保存	[許可]
	Windows ログオンパスワードの保存	[禁止]

[戻る](#)

モバイル併用可能な端末認証型の場合は、以下の画面のように「端末認証 情報」に「PC」「モバイル」と2つの欄が表示されます。

端末認証 情報	PC	登録済み
	モバイル	未登録 (初期化されました)

3.3. プログラムの利用許可を変更する

一つのアカウント（ユーザ名）で、以下の場合に本機能を利用します。

- プラスエディションにおいて、検疫機能の無いビューアを利用できるようにする
(商用出荷の初期状態では、検疫機能の無いビューアは利用できません。)
- モバイル併用可能な USB 型/指紋認証型/端末認証型において、モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)を利用できるようにする
(商用出荷の初期状態では、モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)は利用できません。)

本機能で変更した設定は、マジックコネクトサーバに接続中のビューアには影響を及ぼしません。次回の接続認証から有効となります。

3.3.1. プラスエディションにおいて、検疫機能の無いビューアを利用できるようにする

- (1) プラスエディションの一般ユーザを選択し、「プログラムの利用許可」欄の「ビューア」にある、「プラス無し（～）併用を許可する」にチェックを入れ、[更新]を押します。

ユーザ管理

個別管理 | **一括管理**

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します。

user1 ▼ 選択

中継管理サーバ: magicconnect.net

ユーザ名: user1

ユーザ種別: 一般ユーザ

プログラムの利用許可

ビューア	端末認証型(EX+) 利用可能
	<input checked="" type="checkbox"/> プラス無し(端末認証型(EX)) 併用を許可する
	<input type="checkbox"/> モバイル 併用を許可する
クライアント	利用可能

端末認証 情報

PC	未登録
モバイル	未登録

パスワード

- 変更なし
- 変更する

IPアドレス制限

ビューア	全ての接続を 許可する
クライアント	全ての接続を 許可する

MACアドレス制限

ビューア	全ての接続を 許可する
クライアント	全ての接続を 許可する

モバイルビューアパスワード保存設定

- マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する
- Windows ログオンパスワードの保存を許可する

更新 ● 元に戻す

① プラスエディションの一般ユーザを選択します。なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

② 「プラス無し（～）併用を許可する」にチェックを入れます。

③ [更新]を押します。

- (2) 設定が完了すると「ユーザは正常に更新されました。」と表示され、「プログラムの利用許可」欄の「ビューア」に、現在の許可状況が表示されます。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

ユーザは正常に更新されました。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	端末認証型(EX+) 利用可能
		プラス無し(端末認証型(EX)) 利用可能
	クライアント	利用可能
端末認証 情報	PC	未登録
	モバイル	未登録
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
モバイルビューア パスワード保存設定	マジックコネクト ログインパスワードの保存	[許可]
	Windows ログオンパスワードの保存	[禁止]

[戻る](#)

3.3.2. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)からも利用できるようにする

(1) モバイルの併用が可能な一般ユーザを選択し、「プログラムの利用許可」欄の「ビューア」にある、「モバイル併用を許可する」にチェックを入れ、[更新]を押します。

ユーザ管理

個別管理
一括管理

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します。

user1

選択

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	端末認証型(EX+) 利用可能 <input type="checkbox"/> プラス無し(端末認証型(EX)) 併用を許可する <input checked="" type="checkbox"/> モバイル 併用を許可する
	クライアント	利用可能
	端末認証 情報	PC 未登録 モバイル 未登録
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更なし <input type="radio"/> 変更する	
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
モバイルビューア パスワード保存設定	<input checked="" type="checkbox"/> マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する	
	<input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する	

更新

元に戻す

③[更新]を押します。

①モバイルを利用させたい一般ユーザを選択します。
 なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

user1

 account.admin
 user.mc3000
user1

②「モバイル併用を許可する」にチェックを入れます。

- (2) 設定が完了すると「ユーザは正常に更新されました。」と表示され、「プログラムの利用許可」欄の「ビューア」に、現在の許可状況が表示されます。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

ユーザは正常に更新されました。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	端末認証型(EX+) 利用可能 モバイル 利用可能
	クライアント	利用可能
端末認証 情報	PC	未登録
	モバイル	未登録
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
モバイルビューア パスワード保存設定	マジックコネクト ログインパスワードの保存	[許可]
	Windows ログオンパスワードの保存	[禁止]

[戻る](#)

3.4. マジックコネクトを利用できるネットワークや端末を限定する

- マジックコネクトを利用できるネットワークを限定する場合
- マジックコネクトを利用できる端末を限定する場合

に、本機能を利用します。

本機能で変更した設定は、マジックコネクトサーバに接続中のビューアやクライアントには影響を及ぼしません。

次回の接続認証から有効となります。

3.4.1. マジックコネクトを利用できるネットワークを限定する

アカウント（ユーザ名）ごとに、マジックコネクトの接続を接続元のグローバル IP アドレスで制限することで、利用できるネットワークを限定します。

各アカウント（ユーザ名）の接続元のグローバル IP アドレスは、「2. アクセス履歴の表示」の「接続元アドレス」にて確認できます。

下図のアクセス履歴の表示では、「user1」のビューアの接続元グローバル IP アドレスは、198.51.100.1、クライアントの接続元グローバル IP アドレスは、203.0.113.1 です。

ユーザ名		user1			
累計接続時間		14分 16秒			
種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス
Viewer	01/23 22:17:22	01/23 22:17:23	1秒	198.51.100.1	A4:BA:DB:FB:E9:C8
Client	01/27 08:26:54	01/27 08:27:11	17秒	203.0.113.1	A4:BA:DB:FB:D9:C9

ここでは、「user1」のクライアントに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

1. 接続元アドレス 203.0.113.1 のネットワークからの接続を許可する。
2. 上記 1 に該当しないネットワークからの接続を禁止する。

ユーザ管理

個別管理 一括管理

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します

user1 選択

中継管理サーバ magicconnect.net

ユーザ名 user1

ユーザ種別 一般ユーザ

プログラムの利用許可

ビューア	端末認証型(EX+) 利用可能
	<input type="checkbox"/> プラス無し(端末認証型(EX)) 併用を許可する
	<input type="checkbox"/> モバイル 併用を許可する
クライアント	利用可能

端末認証 情報

PC	未登録
モバイル	未登録

パスワード

- 変更なし
- 変更する

IPアドレス制限

ビューア	全ての接続を 許可する
>>	
クライアント	全ての接続を 許可する

MACアドレス制限

ビューア	全ての接続を 許可する
>>	
クライアント	全ての接続を 許可する

モバイルビューア
パスワード保存設定

- マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する
- Windows ログオンパスワードの保存を許可する

更新 元に戻す

① IPアドレス制限を設定する一般ユーザ「user1」を選択します。
なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

user1

account.admin

user.mc3000

user1

② 「IPアドレス制限」欄の「>>」を押します。
すると、設定枠が右側に表示されます。

IPアドレス制限	ビューア	<input type="button" value="挿入"/> 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止	③[挿入]を押します。 入力欄が表示されるので、 IPアドレス：203.0.113.1 サブネットマスク：255.255.255.255 を入力し、「許可する」を選びます。
	クライアント	<input type="button" value="挿入"/> 203 . 0 . 113 . 1 / 255 . 255 . 255 . 255 <input type="button" value="削除"/> を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する	
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する	④上記③で設定したIPアドレス以外からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。
	クライアント	全ての接続を 許可する	
モバイルビューアパスワード保存設定	<input checked="" type="checkbox"/> マジックコネクト ログインパスワード		<input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する
	<input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する		

リストに適合しない接続を 許可する 禁止する

元に戻す

⑤[更新]を押します。

※サブネットマスクの設定により、ネットワークアドレス単位での制限も可能です。

※同じ IP アドレスに対し、複数の制限設定がされている場合、より上段の設定が優先されます。

3.4.2. マジックコネクトを利用できる端末を限定する

アカウント（ユーザ名）ごとに、マジックコネクトの接続を端末のMACアドレスで制限することで、利用できる端末を限定します。

■ ビューアとして利用できる端末を限定する

ここでは、「user1」のビューアに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

1. [AA-BB-CC-DD-EE-FF]のMACアドレスを持つ端末の接続を許可する。
2. 上記1のMACアドレスを持たない端末の接続を禁止する。

①MACアドレス制限を設定する一般ユーザ「user1」を選択します。なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

②「MACアドレス制限」欄の「>>」を押します。すると、設定枠が右側に表示されます。

ユーザ管理	
個別管理 一括管理	
アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します	
user1 選択	
中継管理サーバ	magicconnect.net
ユーザ名	user1
ユーザ種別	一般ユーザ
プログラムの利用許可	ビューア 端末認証型(EX+) 利用可能 <input type="checkbox"/> プラス無し(端末認証型(EX)) 併用を許可する <input type="checkbox"/> モバイル 併用を許可する
	クライアント 利用可能
端末認証 情報	PC 未登録
	モバイル 未登録
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更なし <input type="radio"/> 変更する
IPアドレス制限	ビューア 全ての接続を 許可する
	クライアント 全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア 全ての接続を 許可する
	クライアント 全ての接続を 許可する
モバイルビューア パスワード保存設定	<input checked="" type="checkbox"/> マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する
	<input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する

更新 元に戻す

③[挿入]を押します。
入力欄が表示されますので、
AA-BB-CC-DD-EE-FF を入力し、
「許可する」を選びます。

MACアドレス制限	ビューア	挿入 AA - BB - CC - DD - EE - FF を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する 削除
	クライアント	挿入 リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する

④上記③で設定したMACアドレスを持たない端末からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。

更新 元に戻す

⑤[更新]を押します。

※複数のMACアドレスを持つ手元端末の場合

ノートPCなど、複数のネットワーク アダプター（有線LAN/無線LAN/内蔵SIM）が存在する端末の場合、ネットワーク アダプターに紐付いたMACアドレスはすべて制限設定の対象です。

複数のネットワーク アダプターが存在する場合、MACアドレスをすべて制限設定に登録してください。

上段に端末に存在するMACアドレスのうち、1つを登録します。

MACアドレス制限	ビューア	挿入 AA - BB - CC - DD - EE - FF を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する 削除
	ビューア	挿入 FF - EE - DD - CC - BB - AA を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する 削除
	クライアント	挿入 リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する

[挿入]を押し、
表示された次段にもう1つの
MACアドレスを登録します。

■ クライアントとして利用できる端末を限定する

ここでは、「user1」のクライアントに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

1. [AA-BB-CC-DD-EE-FF]のMACアドレスを持つ端末の接続を許可する。
2. 上記1のMACアドレスを持たない端末の接続を禁止する。

①MACアドレス制限を設定する一般ユーザ「user1」を選択します。なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

②「MACアドレス制限」欄の「>>」を押します。すると、設定枠が右側に表示されます。

中継管理サーバ		magicconnect.net
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	端末認証型(EX+) 利用可能 <input type="checkbox"/> プラス無し(端末認証型(EX)) 併用を許可する <input type="checkbox"/> モバイル 併用を許可する
	クライアント	利用可能
端末認証 情報	PC	未登録
	モバイル	未登録
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更なし <input type="radio"/> 変更する	
	IPアドレス制限	ビューア 全ての接続を 許可する クライアント 全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
モバイルビューアパスワード保存設定	<input checked="" type="checkbox"/> マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する	

更新 元に戻す

MACアドレス制限	ビューア	<input type="button" value="挿入"/> 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する
	クライアント	全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する

③ 「クライアント」に[挿入]ボタンを表示させるため、「禁止する」を選択します。

MACアドレス制限	ビューア	<input type="button" value="挿入"/> 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する
	クライアント	<input type="button" value="挿入"/> 全ての接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する

④ 表示された[挿入]を押します。

MACアドレス制限	ビューア	<input type="button" value="挿入"/> 全ての接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する
	クライアント	<input type="text" value="AA"/> - <input type="text" value="BB"/> - <input type="text" value="CC"/> - <input type="text" value="DD"/> - <input type="text" value="EE"/> - <input type="text" value="FF"/> <input type="button" value="削除"/> を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する

⑤ AA-BB-CC-DD-EE-FF を入力し、「許可する」を選びます。

モバイルビューアパスワード保存設定	<input checked="" type="checkbox"/> マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する
-------------------	--

<input checked="" type="button" value="更新"/> <input type="button" value="元に戻す"/>	⑥ [更新]を押します。
--	--------------

※ 「許可する」に設定できる MAC アドレスは1つのみです。
 ネットワーク アダプターが複数(有線 LAN/無線 LAN/内蔵 SIM)存在する場合、マジックコネクトで利用しているネットワーク アダプターの MAC アドレスを登録してください。

3.5. プログラムの機能制限を変更する

本機能により、以下の機能制限を変更することができます。

- モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へ、2つのパスワードの保存を許可/禁止する。

商用出荷の初期状態は以下のとおりです。

パスワードの種類	保存
マジックコネクトログイン	許可
Windows ログオン	禁止

- XDL エディション使用時の各種デバイス共有を許可/禁止する。

商用出荷の初期状態は以下のとおりです。(NDL エディションと同じ状態です。)

デバイス共有の種類	共有許可
プリンター共有許可	禁止
ドライブ共有許可	禁止
クリップボード共有許可	禁止
スマートカード共有許可	禁止
シリアルポート共有許可	禁止
プラグ アンド プレイ (PnP) デバイス共有許可	禁止
Print Screen キー使用許可	一部許可する

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

3.5.1. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を許可/禁止する

手元端末が iPhone/iPad、Android 端末の場合、2つのパスワード (マジックコネクットのログインパスワード、Windows のログオンパスワード) の保存を許可/禁止できます。

ここでは、「user1」に対し下記の設定を行う手順を説明します。

- マジックコネクットのログインパスワードの保存を禁止
- Windows のログオンパスワードの保存を禁止

- (1) モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)を利用可能な一般ユーザを選択し、「モバイルビューアパスワード保存設定」欄の「マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する」と「Windows ログオンパスワードの保存を許可する」のチェックを外し、「更新」を押します。

ユーザ管理

個別管理 | **一括管理**

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します

user1

①パスワードの保存設定を変更する一般ユーザ「user1」を選択します。
 なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

user1

account.admin

user.mc3000

user1

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	<input type="checkbox"/> 端末認証型(EX+) 利用可能 <input type="checkbox"/> プラス無し(端末認証型(EX)) 併用を許可する <input checked="" type="checkbox"/> モバイル 併用を許可する
	クライアント	利用可能
端末認証 情報	PC	未登録
	モバイル	未登録
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更なし <input type="radio"/> 変更する	
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する

②「マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する」「Windows ログオンパスワードの保存を許可する」のチェックを外します。

マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する

Windows ログオンパスワードの保存を許可する

③[更新]を押します。

- (2) 設定が完了すると「ユーザは正常に更新されました。」と表示され、「モバイルビューアパスワード保存設定」欄の「マジックコネクト ログインパスワードの保存」と「Windows ログオンパスワードの保存」が禁止になります。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

ユーザは正常に更新されました。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	端末認証型(EX) 利用可能
		モバイル 利用可能
	クライアント	利用可能
端末認証 情報	PC	未登録
	モバイル	未登録
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する

モバイルビューア パスワード保存設定	マジックコネクト ログインパスワードの保存	[禁止]
	Windows ログオンパスワードの保存	[禁止]

[戻る](#)

3.5.2. XDL エディション使用時にデバイス共有を許可/禁止する

XDL エディションの場合、リモートデスクトップのデバイス共有を許可/禁止できます。

XDL エディションを利用している「user1」に対し、下記の設定を行う手順を説明します。

- プリンター共有を許可
- Print Screen キーの使用を禁止

1. XDL エディションを利用しているユーザを選択すると、「XDL ビューアリモートデスクトップ設定」欄が表示されますので、設定を変更します。

①XDLエディションを利用している一般ユーザ「user1」を選択します。
なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(XDL) 利用可能
	クライアント	利用可能
パスワード	● 変更なし ● 変更する	
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を
	クライアント	全ての接続を 許可する

XDLビューア
リモートデスクトップ設定

プリンター共有許可 ドライブ共有許可 クリップボード共有許可
 スマートカード共有許可 シリアルポート共有許可 プラグ アンド プレイ (PnP) デバイス共有許可

Print Screenキー使用許可

● 一部許可する
リモートデスクトップが全画面表示の時に限り許可します

● 全て許可する

全て許可しない

更新 元に戻す

②「プリンター共有許可」にチェックを入れます。

③「Print Screenキー使用許可」において、「全て許可しない」を選択します。

④[更新]を押します。

2. 設定が正常に完了すると、「ユーザは正常に更新されました。」というメッセージが表示され、「XDLビューアリモートデスクトップ設定」欄に変更した設定結果が表示されます。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

ユーザは正常に更新されました。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(XDL) 利用可能
	クライアント	利用可能
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する

XDLビューア リモートデスクトップ設定	プリンター共有許可	[許可する]
	ドライブ共有許可	[許可しない]
	キーボード共有許可	[許可しない]
	スマートカード共有許可	[許可しない]
	シリアルポート共有許可	[許可しない]
	プラグ アンド プレイ (PnP) デバイス共有許可	[許可しない]
	Print Screenキー使用許可	[全て許可しない]

[戻る](#)

3.5.2.1. 「Print Screen キー使用許可」の3つの設定における動作の違い

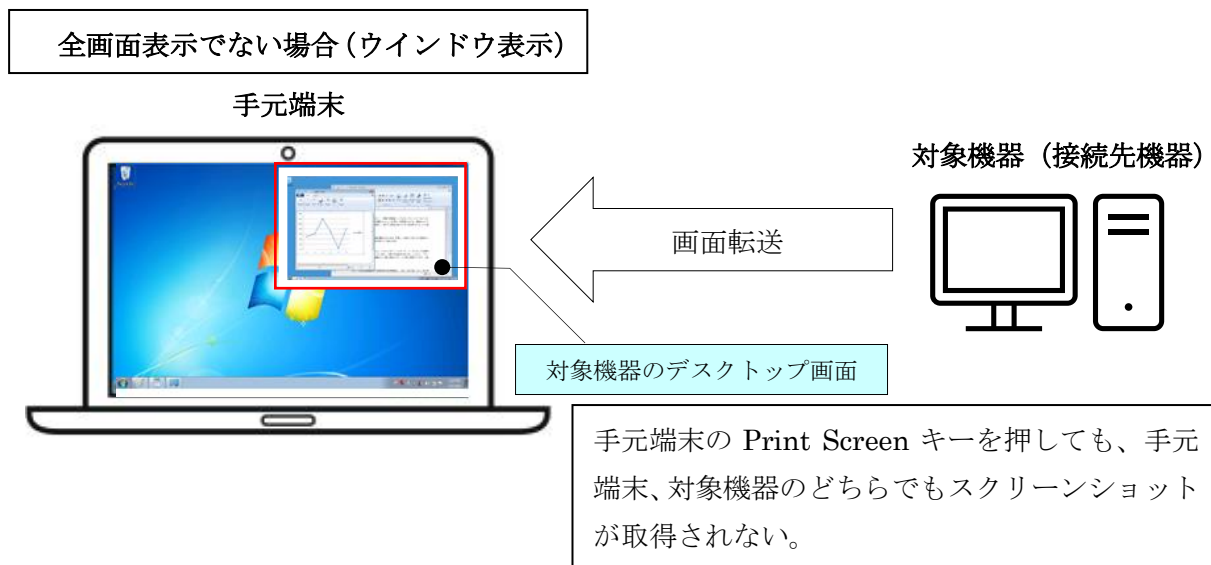
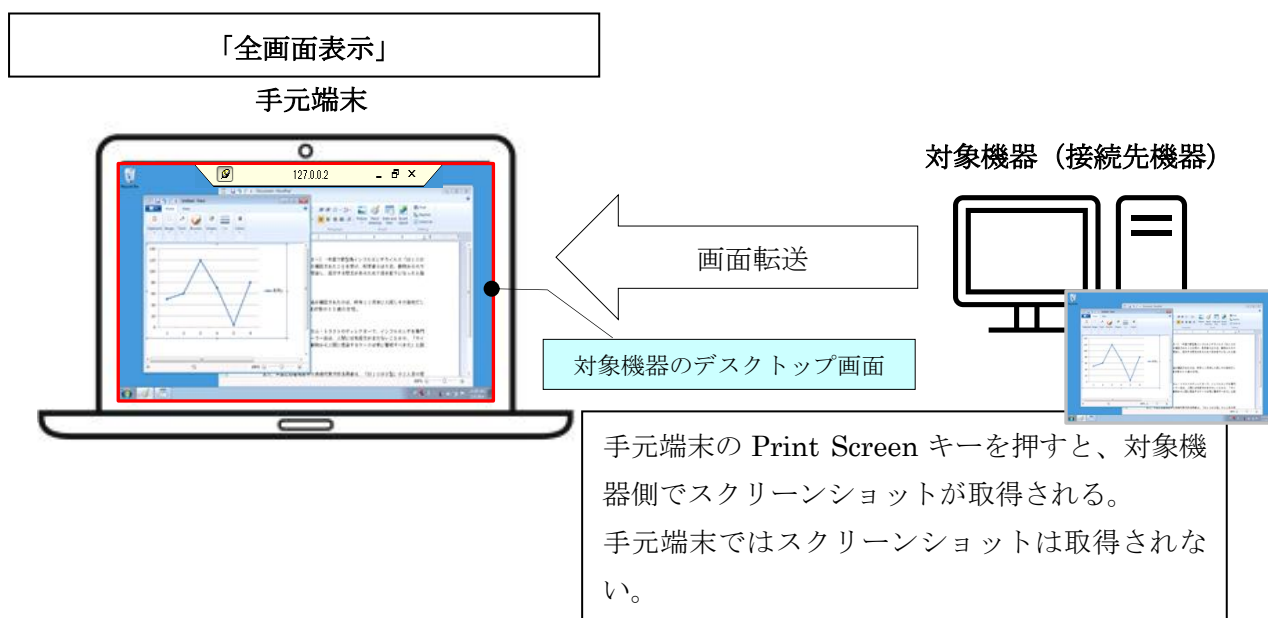
本項では、「Print Screen キー使用許可」の3つの設定における動作の違いを説明します。

■ 一部許可する

Print Screen キーによるスクリーンショット取得を制限します。

この設定の場合、Print Screen キーを押しても手元端末ではスクリーンショットが取得されません。

リモートデスクトップ画面が「全画面表示」の場合、**対象機器（接続先機器/オフィス PC）側**で対象機器のスクリーンショットが取得され、対象機器内に閉じた範囲で画面データを利用できます。



■ 全て許可する

Print Screen キーによるスクリーンショット取得を制限しません。

この設定の場合、Print Screen キーを押すと Windows の標準機能によってスクリーンショットが取得されます。

■ 全て許可しない

この設定の場合、「一部許可する」と同様、Print Screen キーを押しても手元端末ではスクリーンショットが取得されません。

さらに、リモートデスクトップ画面を「全画面表示」にした場合の対象機器（接続先機器/オフィス PC）側でのスクリーンショットも取得されません。

3.6. 一般ユーザのアカウントロックを手動で解除する

一般ユーザの管理機能へのログインが無効化（アカウントロック）され、自動解除がされる前に手動で解除する場合に、本機能を利用します。

管理機能のユーザ認証を連続して5回失敗すると、当該アカウント（ユーザ名）の管理機能へのログインは無効化されます。

そして、システムが自動的に解除、もしくは、アカウント管理者が本機能を用いて手動で解除するまで、管理機能にログインできなくなります。

なお、ログイン無効化は、マジックコネクットのビューアとクライアントの接続認証には影響を与えません。マジックコネクットはこれまで通りご利用いただけます。

御社の一般ユーザから、「管理機能に対しアカウントが心当たりなく無効化されている。」との申告があった場合は、弊社までご連絡ください。

ユーザ名、あるいはパスワードが誤っていた場合、「!!! ユーザ名かパスワードに誤りがあります !!!」のメッセージが表示されます。

ユーザ認証

!!! ユーザ名かパスワードに誤りがあります。!!!

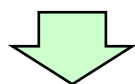


- 同じユーザ名でログイン失敗を5回繰り返すと、アカウントが一時的に無効化されます。
- アカウントが一時的な無効化状態になると、自動解除されるまで待機するか管理者が解除操作を実施するまで Web GUIへログインできなくなります。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名

パスワード



連続して5回失敗すると・・・

アカウントがロックされ、ロックが解除されるまで、管理画面にログインできなくなります。

ユーザ認証

!!! このアカウントは一時的な無効状態です。!!!



- このユーザ名によるログイン失敗が繰り返されたため、Web GUIへのログインが一時的に無効化されています。
- Web GUIにログインするためには、無効化状態が自動解除されるまで待機するか管理者に解除操作を依頼する必要があります。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名

パスワード

- (1) アカウントロックされたユーザ名を選択して、「ユーザ名」欄の「ロックアウト状態を解除する」にチェックを入れ、[更新]を押します。

ユーザ管理

個別管理 **一括管理**

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理

user1 選択

①ロックアウト状態を解除したい一般ユーザを選択します。
 なお、ユーザを検索で絞り込むこともできます。

user1

account.admin

user.mc3000

user1

中継管理サーバ		magicconnect.net	
ユーザ名	user1	!! 2014-02-12 20:34:58 +0900 (にロックアウトされました !!) <input checked="" type="checkbox"/> ロックアウト状態を解除する	
ユーザ種別	一般ユーザ		
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(NDL) 利用可能	
	クライアント	利用可能	
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更なし <input type="radio"/> 変更する		
	IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する	
	クライアント	全ての接続を 許可する	

②「ロックアウト状態を解除する」にチェックを入れます。

③[更新]を押します。

更新 元に戻す

- (2) ロックアウト状態を解除すると、「ユーザ名」欄に「ロックアウト状態が解除されました。」のメッセージが表示されます。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

ユーザは正常に更新されました。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1 ロックアウト状態が解除されました。	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(NDL) 利用可能
	クライアント	利用可能
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する

[戻る](#)

3.7. 複数ユーザの設定をまとめて管理する

これまで説明したユーザ管理の手順は、それぞれのユーザに対し、1 ユーザずつ設定する「個別管理」ですが、本節で説明する「一括管理」の機能を用いると、複数ユーザに対する設定をまとめて行うことができます。

3.7.1. 「一括管理」画面を表示する

(1) ユーザ管理画面で「一括管理」タブをクリックします。

ユーザ管理

個別管理 **一括管理**

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します。
account.admin 選択

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	account.admin	
ユーザ種別	アカウント管理者	
プログラムの利用許可	ビューア	-
	クライアント	-

(2) 「一括管理」画面に切り替わります。

ユーザ管理

個別管理 **一括管理**

ユーザを一括管理します。
複数のユーザの設定を一括して変更します。

一括管理するユーザの選択

一括管理するユーザ (0)

🔍 ユーザを絞り込む...

<< 選択

解除 >>

個別管理するユーザ (8)

🔍 ユーザを絞り込む...

user.mc3000
user1
user2
user3
user4
user5
user6
user7

3.7.2. 一括管理の対象とするユーザを選択する

一括管理の対象とするユーザを選択します。

注意) 全ての一般ユーザを一括管理の対象としたい場合、
ある時点で、全ユーザを一括管理の対象とした後、新たにユーザを追加した場合は、
本手順にて、新たに追加したユーザを一括管理の対象とする作業を行う必要があります。

ここでは、user1、user2、user3、user4 の4 ユーザを一括管理の対象とする手順を説明します。

- (1) 「一括管理」画面上部にある「一括管理するユーザの選択」の「個別管理するユーザ」欄にあるユーザから、一括管理したいユーザを選択し、[<<選択]を押します。

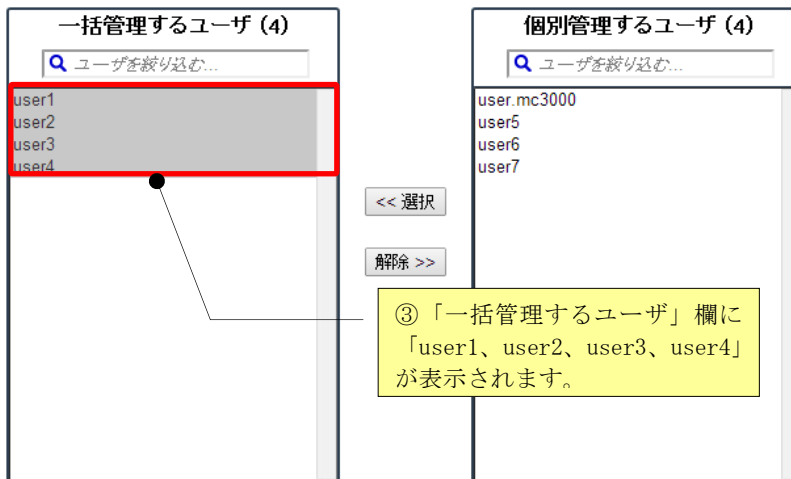
The screenshot shows a user management interface with two tabs: "個別管理" (Individual Management) and "一括管理" (Bulk Management). The "一括管理" tab is active. Below the tabs, there are two panels: "一括管理するユーザ (0)" (Bulk Management Users (0)) and "個別管理するユーザ (8)" (Individual Management Users (8)). The "個別管理するユーザ" panel contains a search bar and a list of users: user.mc3000, user1, user2, user3, user4, user5, user6, and user7. A red box highlights the users user1, user2, user3, and user4. A yellow callout box points to this selection with the text: "①一括管理したいユーザ「user1、user2、user3、user4」を選択します。" (① Select the users you want to manage in bulk: "user1, user2, user3, user4"). A red box highlights the "<< 選択" button, with a yellow callout box pointing to it: "②[選択]を押します。" (② Press [Select]). A light blue callout box at the top right says "ユーザの絞り込みが可能です。" (User filtering is possible). A grey button labeled "解除 >>" is also visible.

(2) 「一括管理するユーザ」欄に、一括管理したいユーザが表示されます。



ユーザを一括管理します。
複数のユーザの設定を一括して変更します。

一括管理するユーザの選択



(3) 「一括管理するユーザ」欄に移動させたユーザ情報を、マジックコネクトサーバへ反映するため、画面下部にある[システムに反映する]を押します。

一括管理する項目の選択とその設定

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	一括管理するユーザ	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	<input type="checkbox"/> プラス無し併用 <input type="checkbox"/> モバイル併用
	クライアント	<input type="checkbox"/> 選択
IPアドレス制限	ビューア	<input type="checkbox"/> 選択
	クライアント	<input type="checkbox"/> 選択
MACアドレス制限	ビューア	<input type="checkbox"/> 選択
	クライアント	<input type="checkbox"/> 選択
モバイルビューア パスワード保存設定	<input type="checkbox"/> 選択	
XDLビューア リモートデスクトップ設定	<input type="checkbox"/> 選択	



(4) ユーザ情報がマジックコネクトサーバへ反映されると、「一括管理」画面が再描画されます。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

ユーザを一括管理します。
複数のユーザの設定を一括して変更します。

一括管理するユーザの選択

The screenshot displays two side-by-side panels for user management. The left panel, titled "一括管理するユーザ (4)", contains a search bar and a list of users: user1, user2, user3, and user4. The user2 entry is highlighted with a red border. The right panel, titled "個別管理するユーザ (4)", contains a search bar and a list of users: user.mc3000, user5, user6, and user7. Between the two panels are two buttons: "<< 選択" and "解除 >>".

3.7.3. 一括管理する設定内容を変更する

一括管理するユーザに対し、共通に適用する設定内容を指定します。

設定指定後に、一括管理対象へユーザを追加した場合、同じ設定が追加したユーザにも適用されます。

共通に適用可能な設定は、以下となります。詳細は、それぞれの解説ページをお読みください。

3.3.1.	プラスエディションにおいて、検疫機能の無いビューアを利用できるようにする	37
3.3.2.	モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)からも利用できるようにする	39
3.4.1.	マジックコネクトを利用できるネットワークを限定する	422
3.4.2.	マジックコネクトを利用できる端末を限定する	455
3.5.1.	モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を許可/禁止する	50
3.5.2.	XDL エディション使用時にデバイス共有を許可/禁止する	53

ここでは、「モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)からも利用できるようにする」および「モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を禁止する」手順を説明します。

- (1) 「一括管理」画面下部にある「一括管理する項目の選択とその設定」の「プログラムの利用許可」欄の「ビューア」の「モバイル併用」の「選択」にチェックを入れます。

一括管理する項目の選択とその設定

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	一括管理するユーザ	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	プラス無し併用 <input type="checkbox"/> 選択 モバイル併用 <input type="checkbox"/> 選択
	ビューア	<input type="checkbox"/> 選択
IPアドレス制限	クライアント	<input type="checkbox"/> 選択
	ビューア	<input type="checkbox"/> 選択
MACアドレス制限	クライアント	<input type="checkbox"/> 選択
	ビューア	<input type="checkbox"/> 選択
モバイルビューア パスワード保存設定	<input type="checkbox"/> 選択	
XDLビューア リモートデスクトップ設定	<input type="checkbox"/> 選択	

システムに反映する

- (2) 「選択」の右側に個別の設定項目が表示されますので、「併用を許可する ※モバイル併用ユーザが対象です。」にチェックを入れます。

プログラムの利用許可	ビューア	プラス無し併用 <input type="checkbox"/> 選択
		モバイル併用 <input checked="" type="checkbox"/> 選択 <input checked="" type="checkbox"/> 併用を許可する ※モバイル併用ユーザが対象です。

(3) 続いて、「モバイルビューアパスワード保存設定」欄の「選択」にチェックを入れます。

一括管理する項目の選択とその設定

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	一括管理するユーザ	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	<input type="checkbox"/> プラス無し併用 選択 <input checked="" type="checkbox"/> モバイル併用 選択
		<input checked="" type="checkbox"/> 併用を許可する <small>※モバイル併用ユーザが対象です。</small>
IPアドレス制限	ビューア	<input type="checkbox"/> 選択
	クライアント	<input type="checkbox"/> 選択
MACアドレス制限	ビューア	<input type="checkbox"/> 選択
	クライアント	<input type="checkbox"/> 選択
モバイルビューアパスワード保存設定	<input type="checkbox"/> 選択	
XDLビューアリモートデスクトップ設定	<input type="checkbox"/> 選択	

システムに反映する

(4) 「選択」の右側に個別の設定項目が表示されますので、「マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する」と「Windows ログオンパスワードの保存を許可する」のチェックを外します。

モバイルビューアパスワード保存設定	<input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する
-------------------	--	---

(5) 最後に、[システムに反映する]を押します。

一括管理する項目の選択とその設定

中継管理サーバ	magicconnect.net		
ユーザ名	一括管理するユーザ		
ユーザ種別	一般ユーザ		
プログラムの利用許可	ビューア	プラス無し併用	<input type="checkbox"/> 選択
	ビューア	モバイル併用	<input checked="" type="checkbox"/> 選択 <input checked="" type="checkbox"/> 併用を許可する ※モバイル併用ユーザが対象です。
IPアドレス制限	ビューア		<input type="checkbox"/> 選択
	クライアント		<input type="checkbox"/> 選択
MACアドレス制限	ビューア		<input type="checkbox"/> 選択
	クライアント		<input type="checkbox"/> 選択
モバイルビューアパスワード保存設定		<input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> マジックコネク ト ログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する
XDLビューアリモートデスクトップ設定		<input type="checkbox"/> 選択	

システムに反映する

(6) 設定した内容がマジックコネク トサーバへ反映されると、「一括管理」画面が再描画されます。

一括管理する項目の選択とその設定

中継管理サーバ	magicconnect.net		
ユーザ名	一括管理するユーザ		
ユーザ種別	一般ユーザ		
プログラムの利用許可	ビューア	プラス無し併用	<input type="checkbox"/> 選択
	ビューア	モバイル併用	<input checked="" type="checkbox"/> 選択 <input checked="" type="checkbox"/> 併用を許可する ※モバイル併用ユーザが対象です。
IPアドレス制限	ビューア		<input type="checkbox"/> 選択
	クライアント		<input type="checkbox"/> 選択
MACアドレス制限	ビューア		<input type="checkbox"/> 選択
	クライアント		<input type="checkbox"/> 選択
モバイルビューアパスワード保存設定		<input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> マジックコネク ト ログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windows ログオンパスワードの保存を許可する
XDLビューアリモートデスクトップ設定		<input type="checkbox"/> 選択	

システムに反映する

3.7.4. 「個別管理」画面でユーザを管理する

「個別管理」タブをクリックすると、「個別管理」画面に切り替わり、ユーザごとに設定内容を参照・変更できます。

- (1) 一括管理対象のユーザを選択すると、
- ① 一括管理対象ユーザであることを示すメッセージ
 - ② 一括管理対象ユーザに対し、共通に適用する設定内容が、ハイライトされます。

ユーザ管理

個別管理

一括管理

アカウント account.admin に所属するユーザ情報を管理します。

user1

選択

一括管理対象ユーザが選択されました。
この背景色の設定項目を変更すると、このユーザは一括管理対象ではなくなります。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	user1	
ユーザ種別	一般ユーザ	
プログラムの利用許可	ビューア	USB型(EX+) 利用可能 <input type="checkbox"/> プラス無し(USB型(EX)) 併用を許可する <input checked="" type="checkbox"/> モバイル 併用を許可する
	クライアント	利用可能
端末認証 情報	未登録	
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更なし <input type="radio"/> 変更する	
IPアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する
MACアドレス制限	ビューア	全ての接続を 許可する
	クライアント	全ての接続を 許可する

モバイルビューア
パスワード保存設定

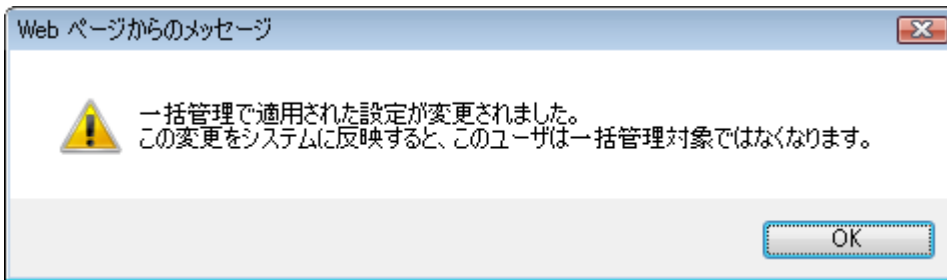
マジックコネクト ログインパスワードの保存を許可する

Windows ログオンパスワードの保存を許可する

更新

元に戻す

- (2) 一括管理対象ユーザに対し、共通に適用する設定内容を、「個別管理」画面から変更すると、下記の注意メッセージが表示されます。

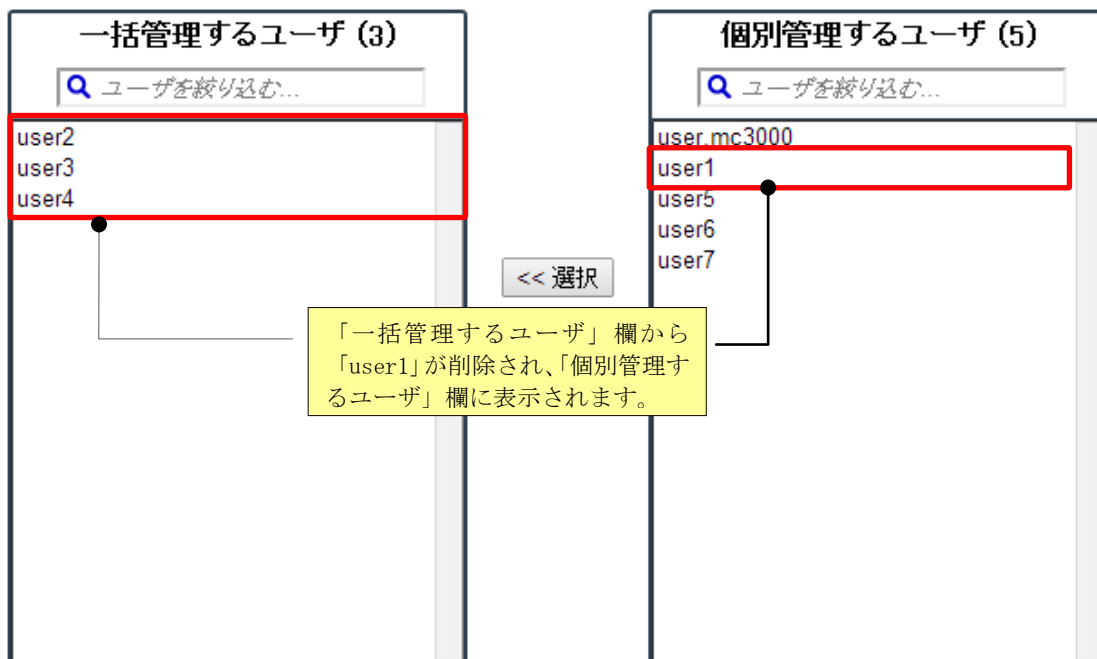


- (3) 「個別管理」画面下部の[更新]を押すと、変更内容がマジックコネクトサーバに反映されます。そして、このユーザは一括管理対象でなくなります。



ユーザを一括管理します。
複数のユーザの設定を一括して変更します。

一括管理するユーザの選択



3.8. ユーザが利用しているビューアとクライアントの種別とバージョンを確認する

ビューアとクライアントの種別とバージョンが記載されたユーザ情報一覧をダウンロードできます。

(1) 「個別管理」の [ユーザ情報一覧をダウンロード(CSV形式)] を押します。

中継管理サーバ	
ユーザ名	account.admin
ユーザ種別	アカウント管理者

■ 「ユーザ情報一覧」 CSV ファイル (user_list.csv) の例

User	PC Viewer Type	PC Viewer Version	Mobile Viewer Type	Mobile Viewer Version	Client Version
user1	Windows	Ver4. 2r2	iOS	Ver4. 3r1	Ver3. 3r6
user2	Mac	Ver6. 0r1	Android	Ver5. 9r1	Ver3. 3r7
user3	-	-			Ver3. 3r3

■ 項目と表示内容を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	User	ユーザ名です。
2	PC Viewer Type	手元端末(操作する側)で利用しているビューアプログラム(Windows/Mac)の種別です。Windows 端末から利用している場合は「Windows」、Mac 端末から利用している場合は「Mac」と表示されます。
3	PC Viewer Version	手元端末(操作する側)で利用しているビューアプログラム(Windows/Mac)のバージョンです。
4	Mobile Viewer Type	手元端末(操作する側)で利用しているビューアプログラム(iOS/Android)の種別です。iPhone/iPad から利用している場合は「iOS」、Android 端末から利用している場合は「Android」と表示されます。
5	Mobile Viewer Version	手元端末(操作する側)で利用しているビューアプログラム(iOS/Android)のバージョンです。
6	Client Version	対象機器(操作される側)で利用しているクライアントプログラムのバージョンです。クライアントプログラムの種別は表示されません。

※サーバへ最後に接続した際のバージョンが表示されます。

※接続が許可されていないプログラムの場合は、「-」で表示されます。

※接続が過去1年間無い場合は、空欄で表示されます。

4. グループ化

本機能を利用することで、一般ユーザのビューア・クライアント間を通信できるようにする接続構成を参照・編集できます。

接続構成を編集した場合、クライアントに対しては、即時に反映されます。

ビューアに対しては、次の接続認証から有効になります。

4.1. 接続構成例の説明	74
4.1.1. 標準接続、グループ化接続とは	74
4.2. 接続構成を参照する	75
4.2.1. 各ビューアが接続できるクライアントの一覧を表示する	75
4.2.2. 各クライアントへ接続できるビューアの一覧を表示する	76
4.3. 接続構成を編集する	78
4.3.1. 複数の対象機器へ接続できるようにする（1対N接続）	78
4.3.2. Windows サーバへ複数のユーザが同時接続できるようにする（N対1接続）	81
4.3.3. WOL コントローラ「MC3000」を利用する接続構成とする（N対M接続）	85
4.3.4. グループ化接続を削除する.....	90
4.4. グループ化接続の作業を CSV 形式のファイルで行う	93
4.4.1. グループ化接続情報を CSV 形式でダウンロードする.....	95
4.4.2. グループ化接続を CSV 形式で一括追加する	96
4.4.3. グループ化接続を CSV 形式で一括削除する	99
4.4.4. グループ化接続を CSV 形式で復元する	102

グループ化画面を表示させるには、メニュー画面からグループ化をクリックします。

メニュー アクセス履歴 ユーザ管理 **グループ化** セキュリティ パスワード変更 ログアウト

メニュー

ようこそ **account.admin** さん。

このページは、MagicConnect契約アカウントのアカウント管理用メニューです。

ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

[ユーザ管理](#)

[グループ化](#)

[セキュリティ](#)

[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

「グループ化」をクリックします。

4.1. 接続構成例の説明

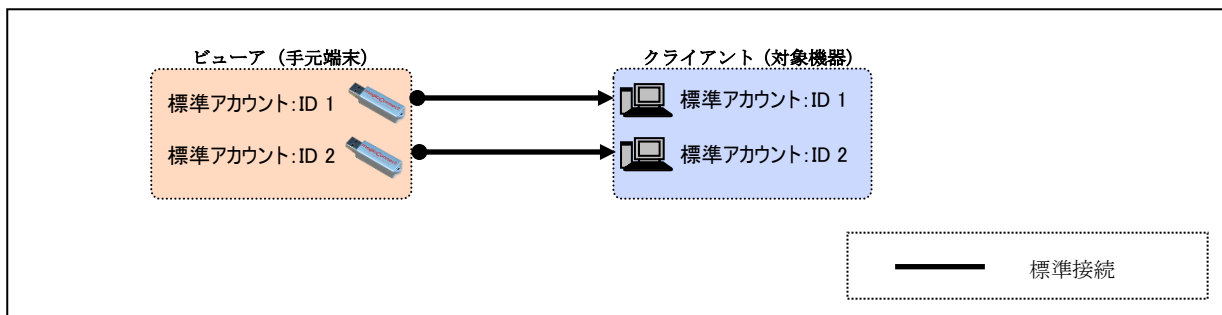
4.1.1. 標準接続、グループ化接続とは

マジックコネクトでは、多様な接続構成を簡単に実現できるようにするため、2つのタイプの接続を用意しています。

■一つは、「標準接続」と称するタイプです。

ビューアおよびクライアントに、同じユーザ名を設定するだけで、ビューア・クライアント間の通信が可能になります。下図において、黒の実線で示されている接続です。

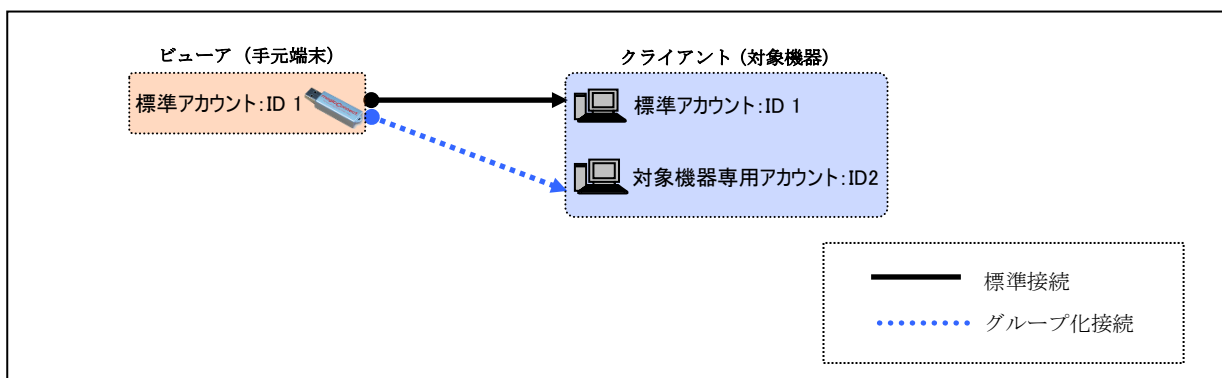
これは、「標準アカウント」と称するアカウントを購入することで、実現されます。



■もう一つは、「グループ化接続」と称するタイプです。

異なるユーザ名を有するビューア・クライアント間を通信可能にします。下図において、青の破線で示されている接続です。

これは、ビューア・クライアント間の接続構成を、グループ化の機能を用いて、マジックコネクトサーバに登録することで、実現されます。



4.2. 接続構成を参照する

4.2.1. 各ビューアが接続できるクライアントの一覧を表示する

(1) 「ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する」を選択します。

選択すると、ビューアが接続可能なクライアントの一覧画面が表示されます。

「絞り込みテキストボックス」で、表示するユーザ名を絞り込むことができます。

下記では、表示するビューアの絞り込みを「user」で行っています。

「標準接続」は、黒の実線で示され、「グループ化接続」は、青の実線で示されます。

「ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する」を選択します。

アカウント **account.admin** に所属するユーザの接続構成を表示しています。

ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する クライアントに接続できるビューア一覧を表示する

user 表示するビューアの絞り込みが可能。

ビューア	接続	クライアント
user1	標準接続 (黒の実線) → 標準接続 (黒の実線)	user1
	グループ化接続 (青の実線) → グループ化接続 (青の実線)	user.mc3000

左記ビューアに対するクライアントの絞り込みが可能。

ビューア	接続	クライアント
user2	標準接続 (黒の実線) → 標準接続 (黒の実線)	user2

すべてのクライアントを表示

4.2.2. 各クライアントへ接続できるビューアの一覧を表示する

- (1) 「クライアントに接続できるビューア一覧を表示する」を選択します。
選択すると、クライアントへ接続可能なビューアの一覧画面が表示されます。

「絞り込みテキストボックス」で、表示するユーザ名を絞り込むことができます。

「標準接続」は、黒の実線で示され、「グループ化接続」は、青の実線で示されます。

「クライアントに接続できるビューア一覧を表示する」を選択します。

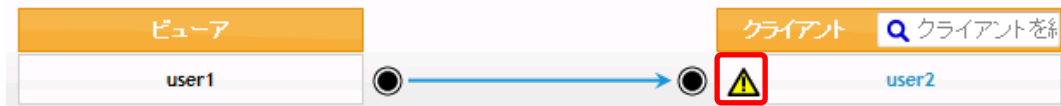
アカウント **account.admin** に所属するユーザの接続構成を表示しています。

The screenshot displays a web interface for managing user connections. At the top, there are two tabs: "ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する" (View list of clients that can be connected to) and "クライアントに接続できるビューア一覧を表示する" (View list of viewers that can be connected to), with the latter highlighted in red. Below the tabs is a search box labeled "クライアントを絞り込む" (Filter clients). The main content area shows three rows, each representing a user's connection configuration. Each row has a "ビューア" (Viewer) section on the left and a "クライアント" (Client) section on the right. The first row shows "user1" as the viewer and "user.mc3000" as the client, connected by a blue arrow. The second row shows "user1" as the viewer and "user1" as the client, connected by a black arrow. The third row shows "user2" as the viewer and "user2" as the client, connected by a black arrow. A callout box points to the blue arrow in the first row, stating "右記クライアントに対するビューアの絞り込みが可能。" (Filtering of viewers for the client on the right is possible). Another callout box points to the search box, stating "表示するクライアントの絞り込みが可能。" (Filtering of clients to be displayed is possible).

不正な接続の表示について

以下の場合、不正な接続として扱われ、ユーザ名の前に「警告マーク」が表示されます。

- 弊社がアカウントを停止した一般ユーザへの接続
- アカウントが存在しない一般ユーザへの接続



弊社は、解約を申し込まれたアカウント、タイプ変更などの移行申し込みをされたアカウントに対し、

- ①解約・移行月末の翌月初旬に、アカウントの停止を、
 - ②その翌月に、停止したアカウントの削除とグループ化接続の削除を、
- 行います。

このため、①～②の間の期間は、解約や移行を申し込まれたアカウントには、「警告マーク」が表示されます。

「警告マーク」は、「グループ化接続を削除する」を実施することで、表示されなくなります。

気になる場合は、グループ化接続の削除を実施していただくようお願いいたします。

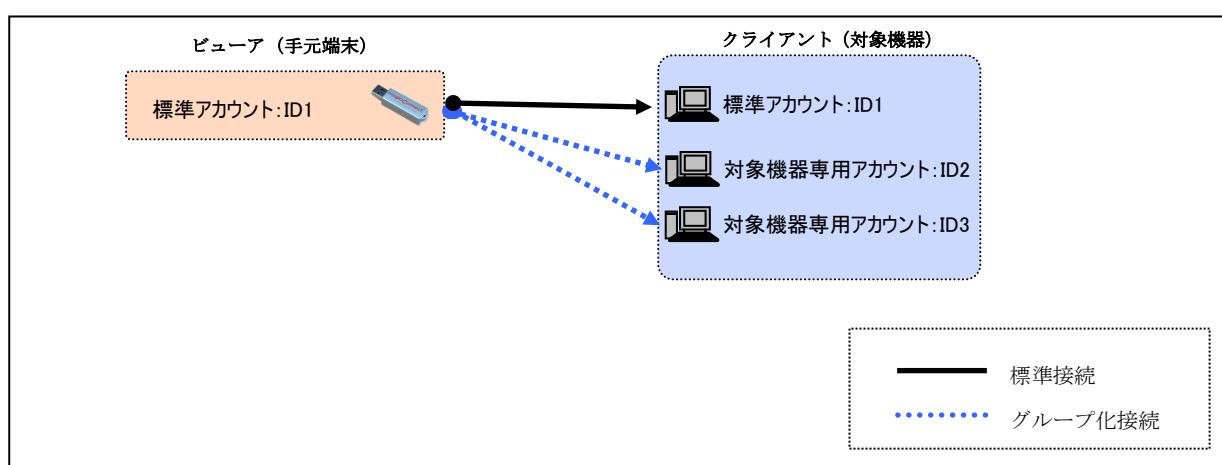
ただし、不正な接続の設定（追加）はできませんので、ご注意ください。

4.3. 接続構成を編集する

4.3.1. 複数の対象機器へ接続できるようにする（1対N接続）

ここでは、異なるユーザ名を有する複数台のPCやサーバへ接続できるようにする手順を説明します。

下図に示す、標準アカウント：ID1(user1)の1アカウントと、対象機器専用アカウント：ID2(user2)～ID3(user3)の2アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。そして、「user1」のビューアが、「user2～user3」のクライアントへ接続できるようにするグループ化の手順を説明します。



- (1) ビューアを基点とした表示にするため、「ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する」をクリックし、次に、その下の「すべてのビューアを表示」をクリックします。

「ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する」をクリックします。
次に、その下の「すべてのビューアを表示」をクリック（※）します。

※アカウントとその接続構成が表示されるのは、標準接続もしくはグループ化接続が存在する場合です。
本例の初期状態では、両接続とも存在しませんので、「すべてのビューアを表示」をクリックすることで、ビューアのアカウントが表示されます。

ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する

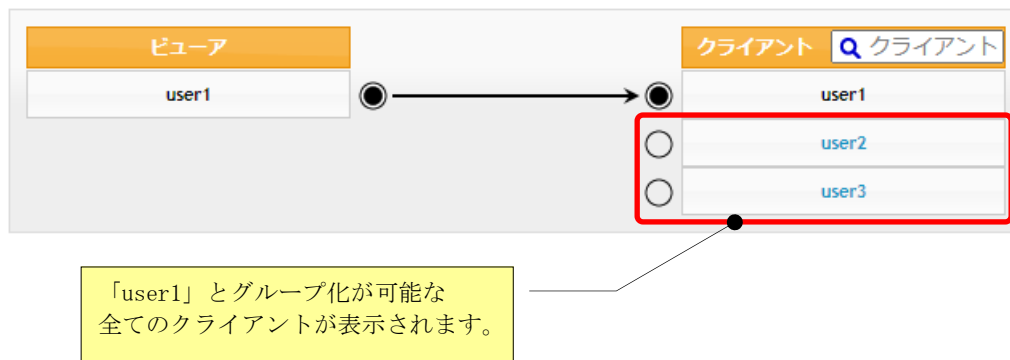
クライアントに接続できるビューア一覧を表示する

すべてのビューアを表示

- (2) 「user1」のビューアの接続先として指定できるクライアントを全て表示するため、「すべてのクライアントを表示」をクリックします。



- (3) 「user1」のビューアの接続先として指定できる全てのクライアントが表示されます。

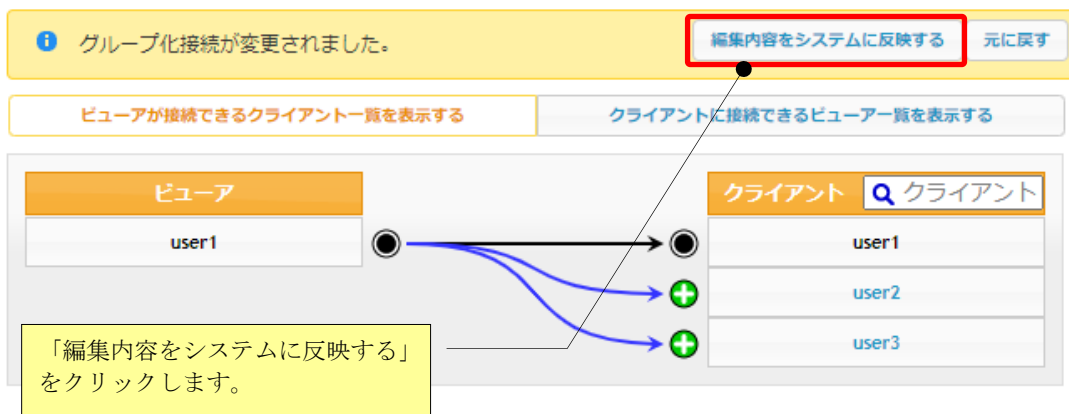


- (4) 「user2～user3」の横に表記されている端子マークをクリックします。
端子マークが「○ → ⊕」に変化して、「青」の接続線と「グループ化接続が変更されました。」のメッセージが表示されます。

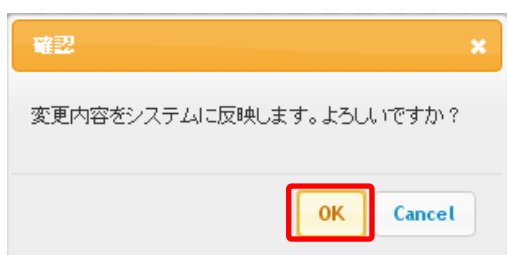
注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。



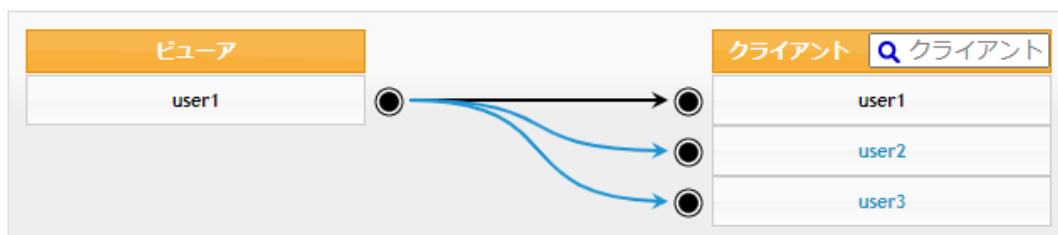
- (5) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、「編集内容をシステムに反映する」をクリックします。



- (6) 確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



- (7) 「user1」のビューアから、「user2～user3」のクライアントへ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。



下記メッセージが表示された場合は、変更した内容はマジックコネクトサーバへ反映されていません。主な原因として、タイムアウト(管理画面にログオンしたまま長時間操作をしなかった場合)が考えられます。ページを再読み込みし、必要であれば「ログイン」からやり直し確認してください。

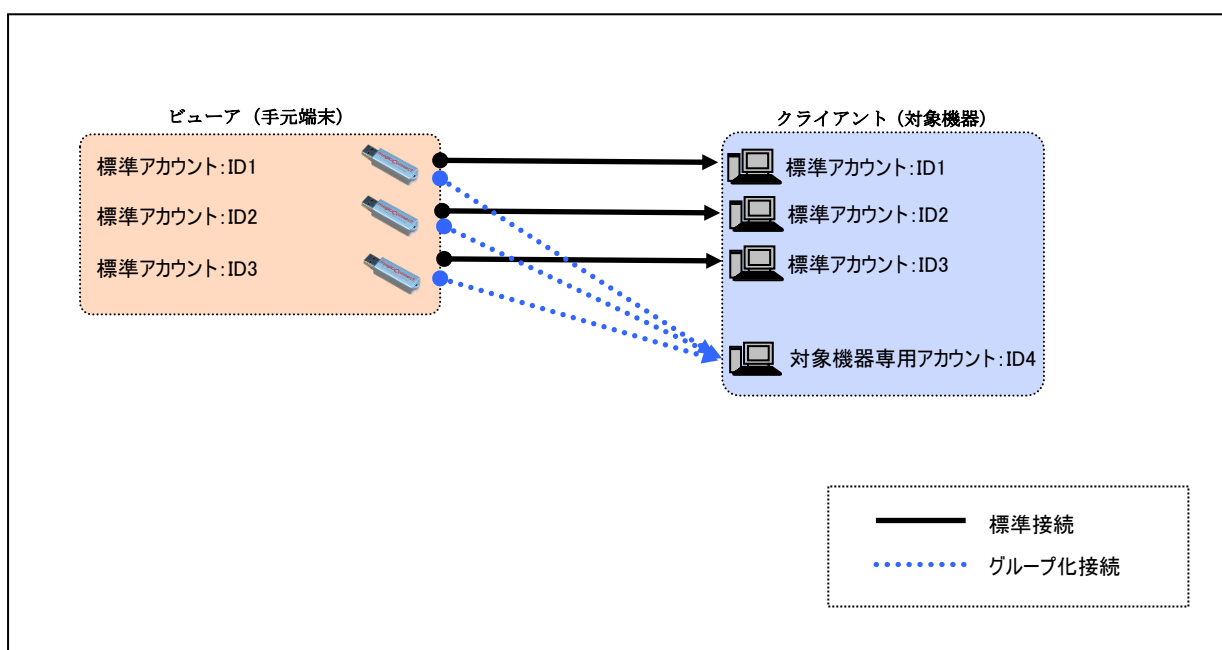
⚠ グループ化接続情報の編集に失敗しました。ページを再読み込みしてください。

4.3.2. Windows サーバへ複数のユーザが同時接続できるようにする (N対1接続)

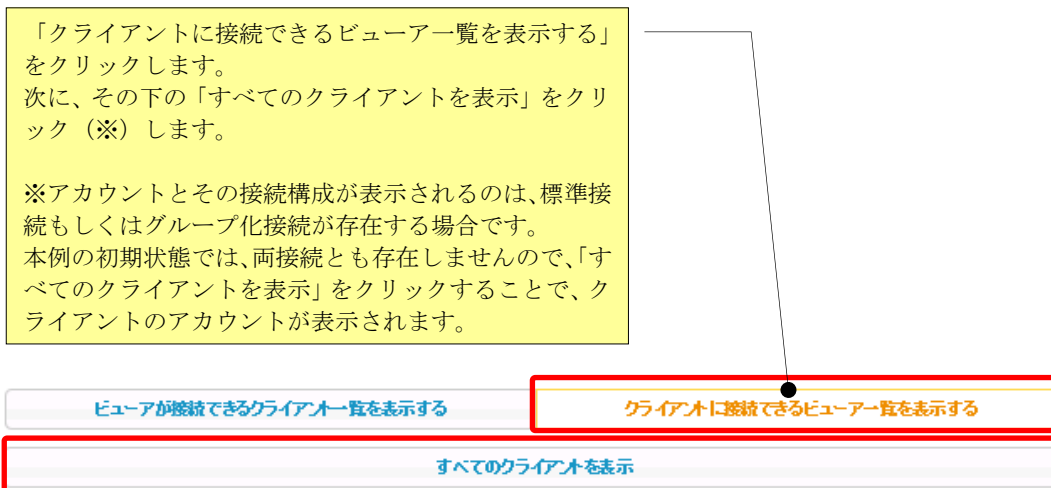
ここでは、異なるユーザ名を有する1台のWindowsサーバへ、複数のユーザが同時に接続できるようにする手順を説明します。

下図に示す、標準アカウント：ID1 (user1) ~ID3 (user3) の3アカウントと、対象機器専用アカウント：ID4(user4)の1アカウントの計4アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。

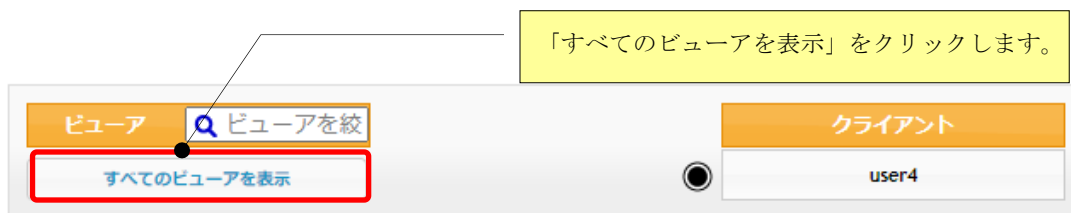
そして、「user1~user3」のビューアが、「user4」のクライアントへ接続できるようにするグループ化の手順を説明します。



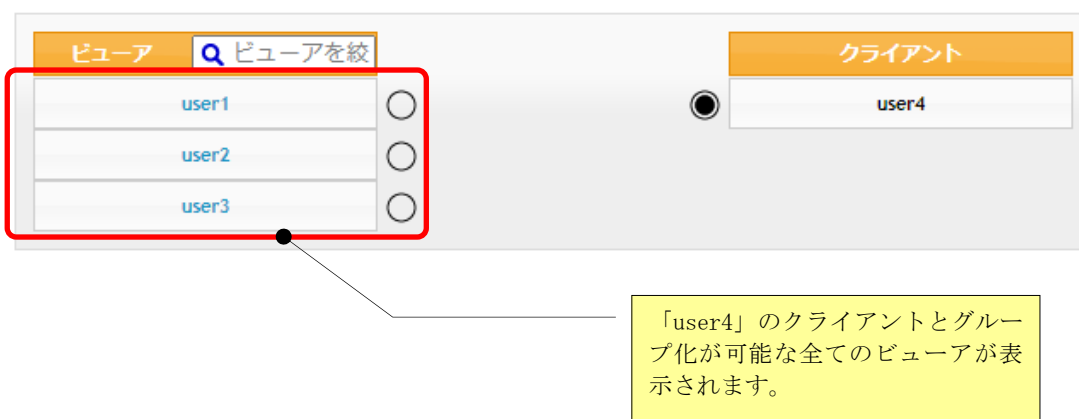
- (1) クライアントを基点とした表示にするため、「クライアントに接続できるビューア一覧を表示する」をクリックします。次にその下の「すべてのクライアントを表示」をクリックします。



- (2) 「user4」のクライアントへの接続元として指定可能なビューアを全て表示するため、「すべてのビューアを表示」をクリックします。



- (3) 「user4」のクライアントへの接続元として指定できる、全てのビューアが表示されます。



- (4) 「user1～user3」の横に表記されている端子マークをクリックします。
端子マークが「○→➕」に変化して、「青」の接続線と「グループ化接続が変更されました。」のメッセージが表示されます。

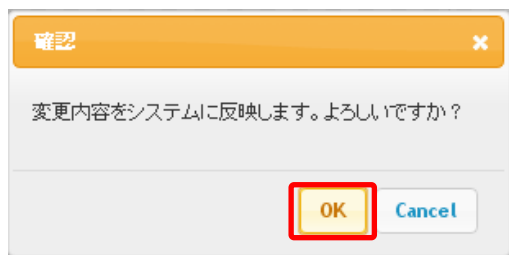
注意：この時点では、マジックコネクタサーバには、変更した内容は反映されません。

「user1～user3」の横にある端子マークをクリックします。
すると、青の接続線が表示されます。

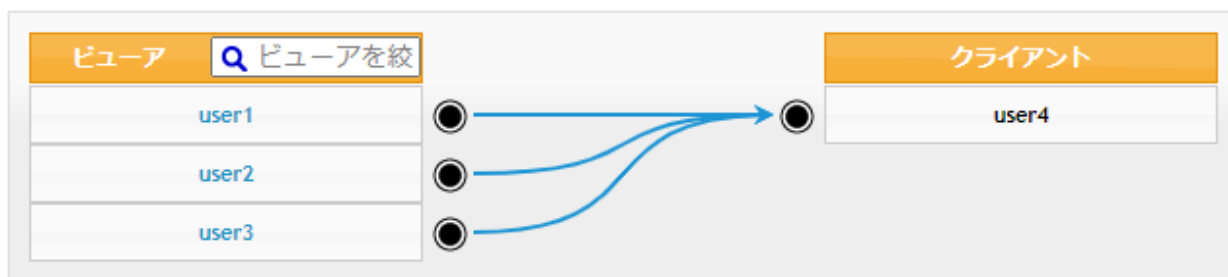
- (5) 変更した内容をマジックコネクタサーバに反映するため、「編集内容をシステムに反映する」をクリックします。

「編集内容をシステムに反映する」
をクリックします。

(6) 確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



(7) 「user1～user3」のビューアから、「user4」のクライアントへ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。



下記メッセージが表示された場合は、変更した内容はマジックコネクトサーバへ反映されていません。

主な原因として、タイムアウト(管理画面にログオンしたまま長時間操作をしなかった場合)が考えられます。ページを再読み込みし、必要であれば「ログイン」からやり直し確認してください。

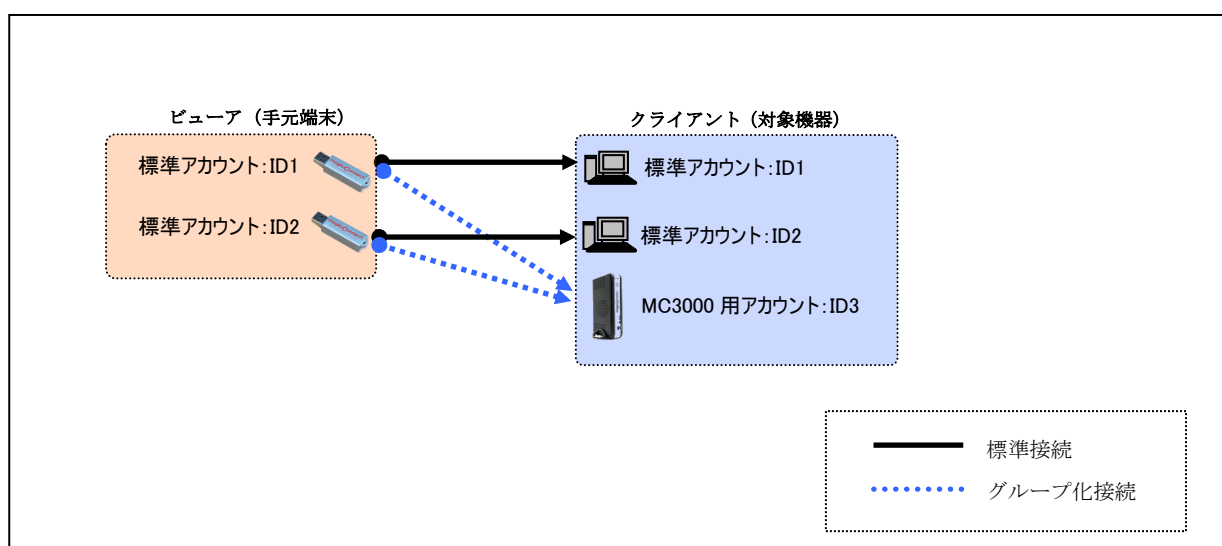
⚠ グループ化接続情報の編集に失敗しました。ページを再読み込みしてください。

4.3.3. WOL コントローラ「MC3000」を利用する接続構成とする (N 対 M 接続)

ここでは、電源オフ状態の会社の自席 PC を、WOL コントローラ「MC3000」でリモートから起動して、接続できるようにする手順を説明します。

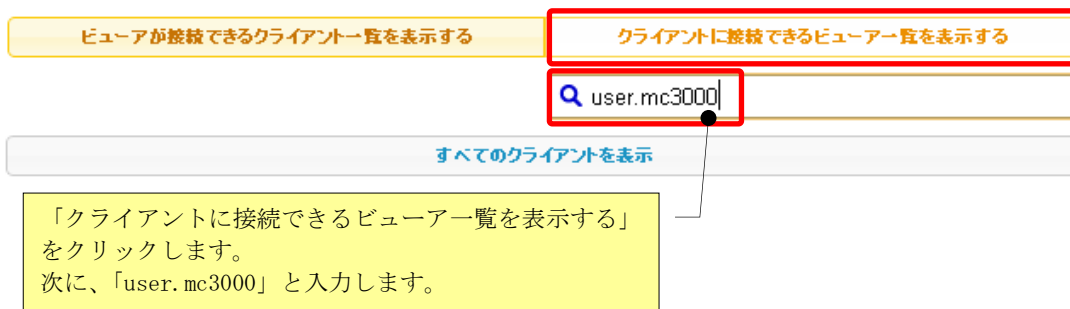
下図に示す、標準アカウント：ID1 (user1) ～ID2 (user2) の 2 アカウントと、MC3000 用アカウント：ID3 (user.mc3000) の 1 アカウントの計 3 アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。

そして、「MC3000」を利用できるようにするため、MC3000 用アカウント「user.mc3000」へ「user1～user2」のビューアから接続できるようにするグループ化の手順を説明します。

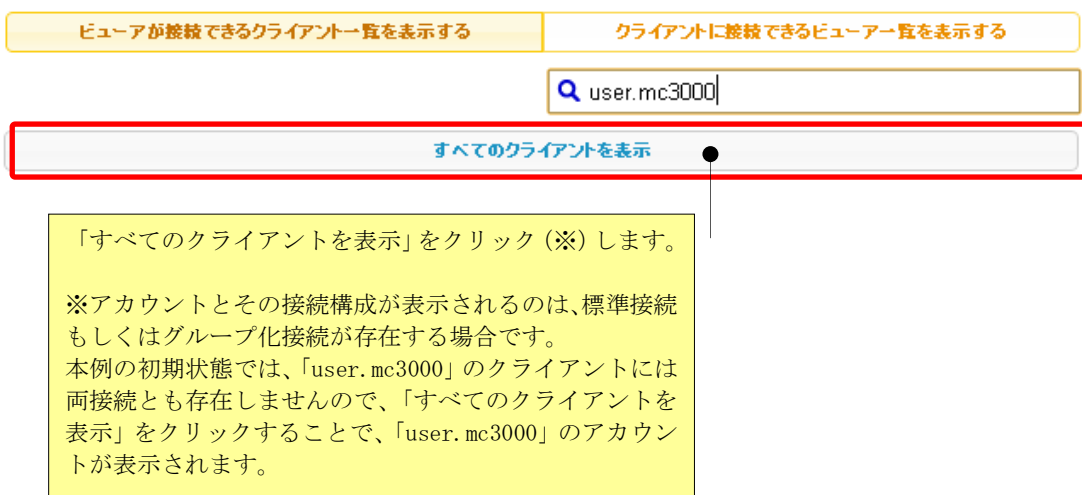


- (1) 表示を、「user.mc3000」のクライアント、および、左記クライアントへの接続元として指定できるビューアに限定するため、「クライアントに接続できるビューア一覧を表示する」をクリックします。

次に、その下のテキストボックスに「user.mc3000」と入力して、Enterを押します。



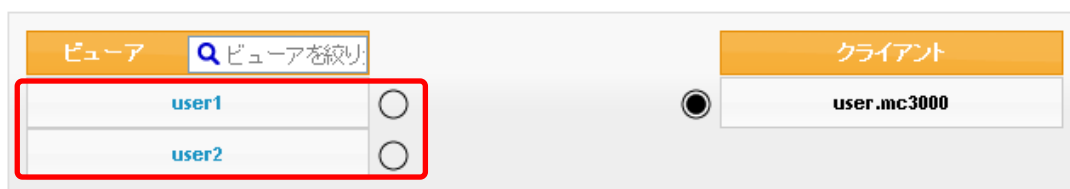
- (2) 絞り込んだ「user.mc3000」のクライアントを表示するため、「すべてのクライアントを表示」をクリックします。



- (3) 「user.mc3000」のクライアントへの接続元として指定できるビューアを全て表示するため、「すべてのビューアを表示」をクリックします。



- (4) 「user.mc3000」のクライアントへの接続元として指定できる全てのビューアが表示されます。

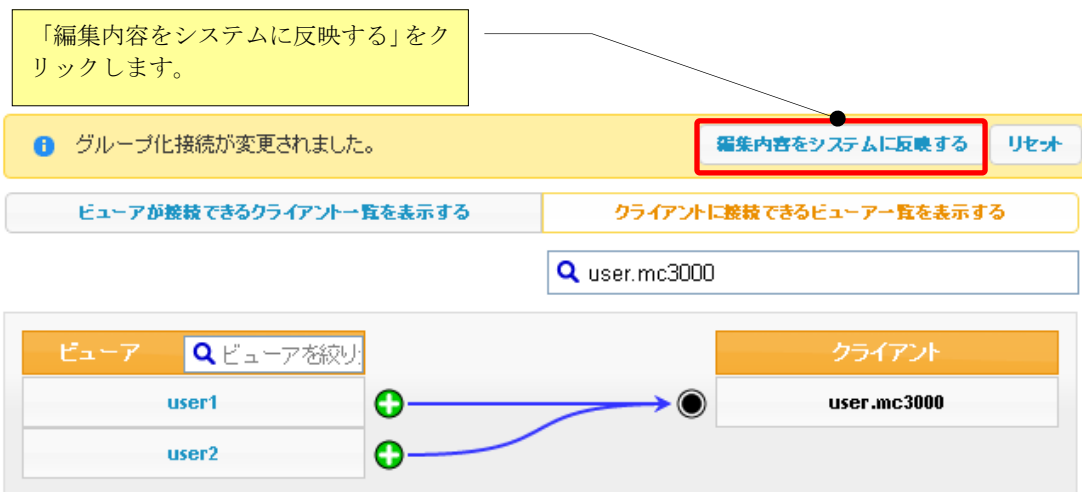


- (5) 「user1～user2」の横に表記されている端子マークをクリックします。
端子マークが「○→⊕」に変化して、「青」の接続線と「グループ化接続が変更されました。」のメッセージが表示されます。

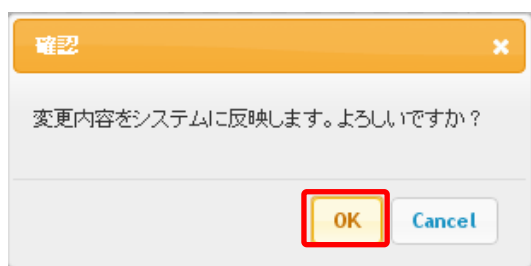
注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。



(6) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、「編集内容をシステムに反映する」をクリックします。



(7) 確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



(8) 「user1～user2」のビューアから、「user.mc3000」のクライアントへ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。



下記メッセージが表示された場合は、変更した内容はマジックコネクトサーバへ反映されていません。

主な原因として、タイムアウト(管理画面にログオンしたまま長時間操作をしなかった場合)が考えられます。ページを再読み込みし、必要であれば「ログイン」からやり直し確認してください。

⚠ グループ化接続情報の編集に失敗しました。ページを再読み込みしてください。

(9) 上記(8)では「user.mc3000」のクライアントに対する接続構成のみが表示されています。

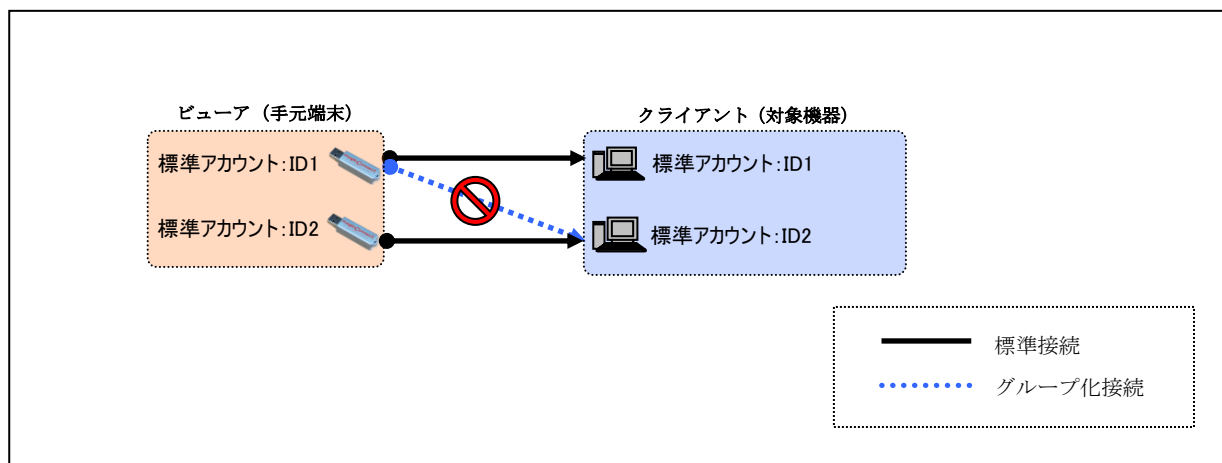
「user1～user2」のビューアが接続可能なクライアントを確認するには、「ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する」をクリックします。

「ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する」をクリックします。

The screenshot shows the Magic Connect interface. At the top, there are two buttons: 'ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する' (highlighted with a red box) and 'クライアントに接続できるビューア一覧を表示する'. Below these is a search bar for viewers. The main area is divided into two sections. The top section shows 'user1' in the viewer column connected to 'user1' and 'user.mc3000' in the client column. The bottom section shows 'user2' in the viewer column connected to 'user2' and 'user.mc3000' in the client column. Both sections have a 'すべてのクライアントを表示' button.

4.3.4. グループ化接続を削除する

下図に示す、標準アカウント：ID1 (user1) と標準アカウント：ID2 (user2) が契約され、ID1 (user1) のビューアと ID2 (user2) のクライアント間がグループ化接続されているとします。



ここでは、「user1」のビューアから「user2」のクライアントへのグループ化接続を削除する手順を説明します。

- (1) 表示を、「user1」のビューア、および、左記ビューアが接続できるクライアントに限定するため「ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する」を選択します。次に、その下のテキストボックスに「user1」と入力して、Enter を押します。

- (2) 「user2」のクライアントの横に表記されている端子マークをクリックします。
端子マークが「●→●」に変化して「灰色 破線」の接続線と「グループ化接続が変更されました。」のメッセージが表示されます。

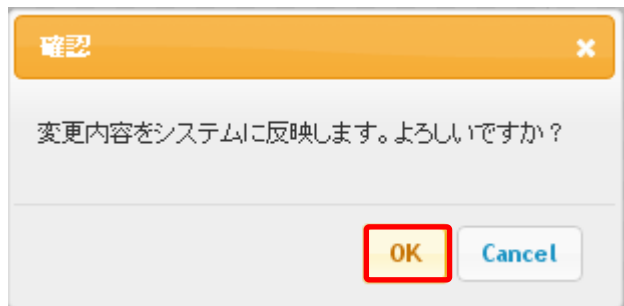
注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

The screenshot shows the Magic Connect interface. At the top, a yellow notification bar contains the message "グループ化接続が変更されました。" (Grouped connection has been changed.) and buttons for "編集内容をシステムに反映する" (Reflect edit content to system) and "リセット" (Reset). Below this are two tabs: "ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する" (Show list of clients viewable by viewer) and "クライアントに接続できるビューア一覧を表示する" (Show list of viewers connectable to client). A search bar contains "user1". The main area is divided into "ビューア" (Viewer) and "クライアント" (Client) sections. In the "ビューア" section, "user1" is listed. In the "クライアント" section, "user1" and "user2" are listed. A red box highlights the terminal icon next to "user2" in the client list, which is being clicked. A callout box explains: "user2の横にある端子マークをクリックします。すると、灰色・破線の接続線が表示されます。" (Click the terminal icon next to user2. Then, a gray dashed connection line is displayed.)

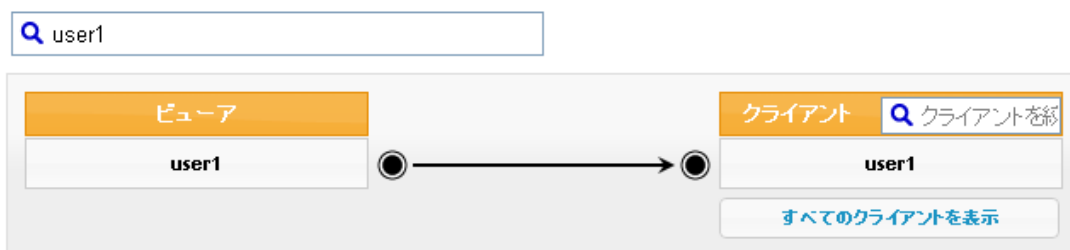
- (3) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、「編集内容をシステムに反映する」をクリックします。

This screenshot is similar to the previous one, but the "編集内容をシステムに反映する" button in the top notification bar is now highlighted with a red box. A callout box points to this button with the text: "「編集内容をシステムに反映する」をクリックします。" (Click "Reflect edit content to system"). The interface below remains the same, showing the connection between user1 and user2.

(4) 確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



(5) ユーザ名「user1」のビューアに対する構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。



下記メッセージが表示された場合は、変更した内容はマジックコネクトサーバへ反映されていません。

主な原因として、タイムアウト(管理画面にログオンしたまま長時間操作をしなかった場合)が考えられます。ページを再読み込みし、必要であれば「ログイン」からやり直し確認してください。

 グループ化接続情報の編集に失敗しました。ページを再読み込みしてください。

4.4. グループ化接続の作業を CSV 形式のファイルで行う

契約されているアカウントに対する「グループ化接続情報」のダウンロードや編集を、CSV 形式のファイルで行う方法を説明します。

グループ化のページ右肩にあるアイコンをクリックし、表示されたプルダウンメニューから、実施する作業を選択します。

①アイコンをクリックします。

アカウント **account.admin** に所属するユーザの接続構成を表示しています。

ビューアが接続できるクライアント一覧を表示する クライアントに接続できる

Q ビューアを絞り込む...

CSV形式でダウンロード
CSV形式で一括追加
CSV形式で一括削除
CSV形式で復元

クライアント Q クライアントを絞

user1

すべてのクライアントを表示

ビューア

user2

クライアント Q クライアントを絞

user2

user.mc3000

user1

②プルダウンメニューから、実施する作業を選択します。

■ CSV 形式のファイルフォーマットについて

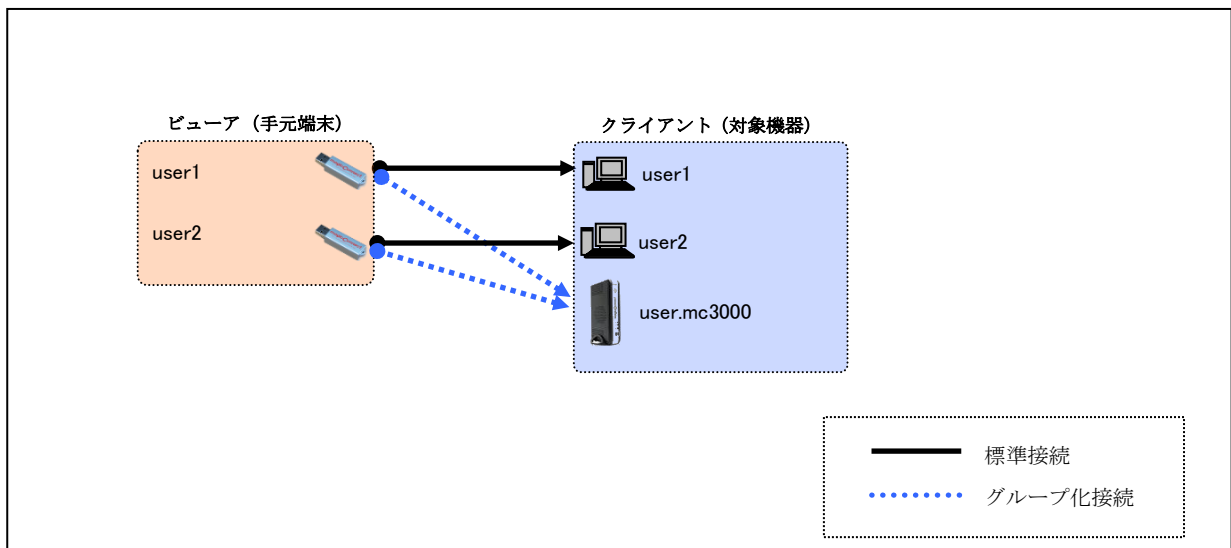
CSV 形式のファイルは、グループ化接続の情報のみで構成され、標準接続の情報は含みません。

1 行が 1 組 (1:1) のグループ化接続を表します。

そして、行は「接続元であるビューアのユーザ名」「,(カンマ)」「接続先であるクライアントのユーザ名」という形式で記述されます。

■ CSV 形式のファイル例

下図の接続構成に対する CSV ファイルの内容を示します。



source (viewer),destination (client)●
user1,user.mc3000●
user2,user.mc3000●


1 行目はタイトル行です。
マジックコネクトサーバからダウンロードされたフ
ァイルに存在します。
自身でファイルを作成する場合、この行は無くても
かまいません。

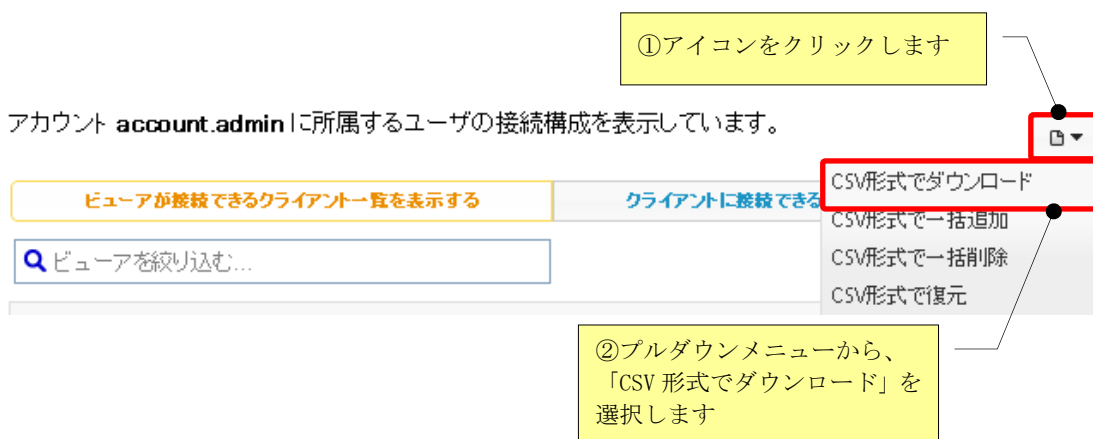
user1 → user.mc3000 に接続

user2 → user.mc3000 に接続

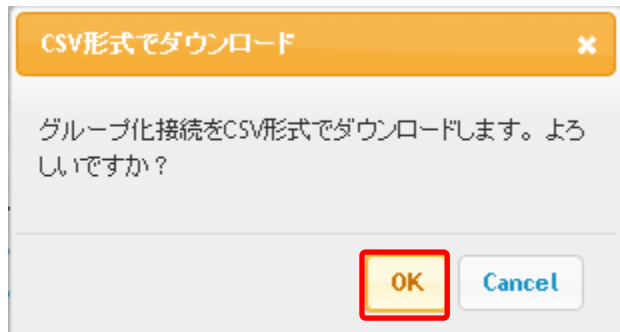
4.4.1. グループ化接続情報を CSV 形式でダウンロードする

マジックコネクトサーバに登録されているグループ化接続の情報を CSV 形式でダウンロードします。

- (1) グループ化のページ右肩にある  アイコンをクリックし、表示されたプルダウンメニューから「CSV 形式でダウンロード」を選択します。




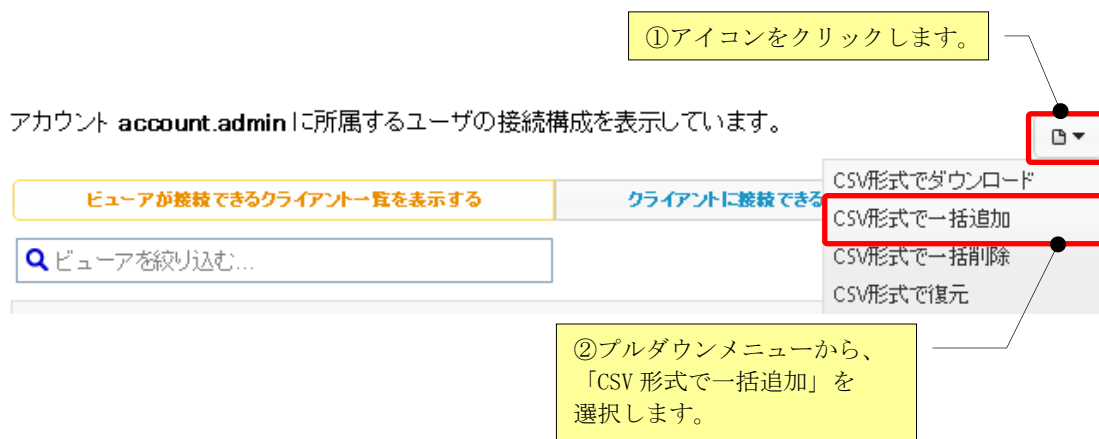
- (2) 確認画面が表示されますので、[OK]を押すと、CSV ファイルのダウンロードが開始されます。標準では group.csv というファイル名となっています。



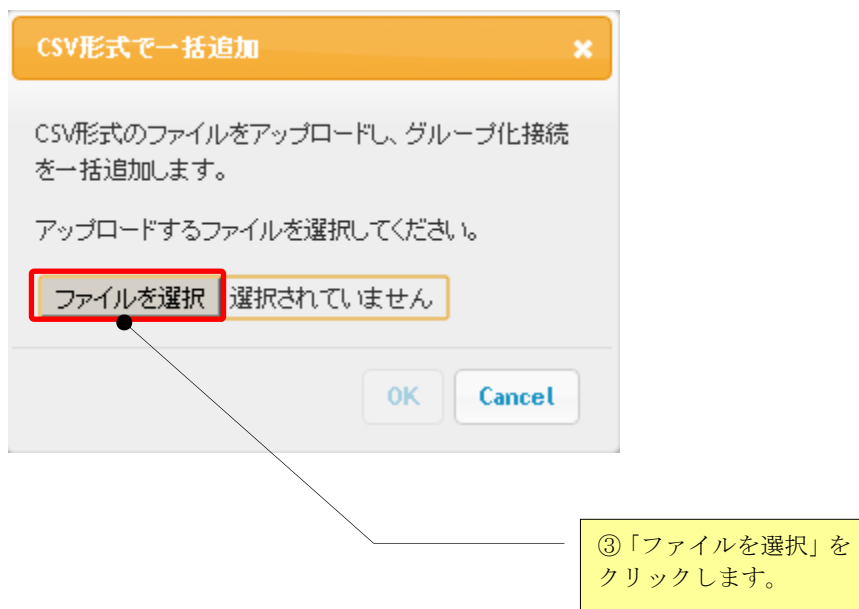
4.4.2. グループ化接続を CSV 形式で一括追加する

マジックコネクトサーバの既存のグループ化接続の情報を維持した上で、CSV 形式で用意したグループ化接続の情報を追加登録します。

- (1) グループ化のページ右肩にある  アイコンをクリックし、表示されたプルダウンメニューから「CSV 形式で一括追加」を選択します。

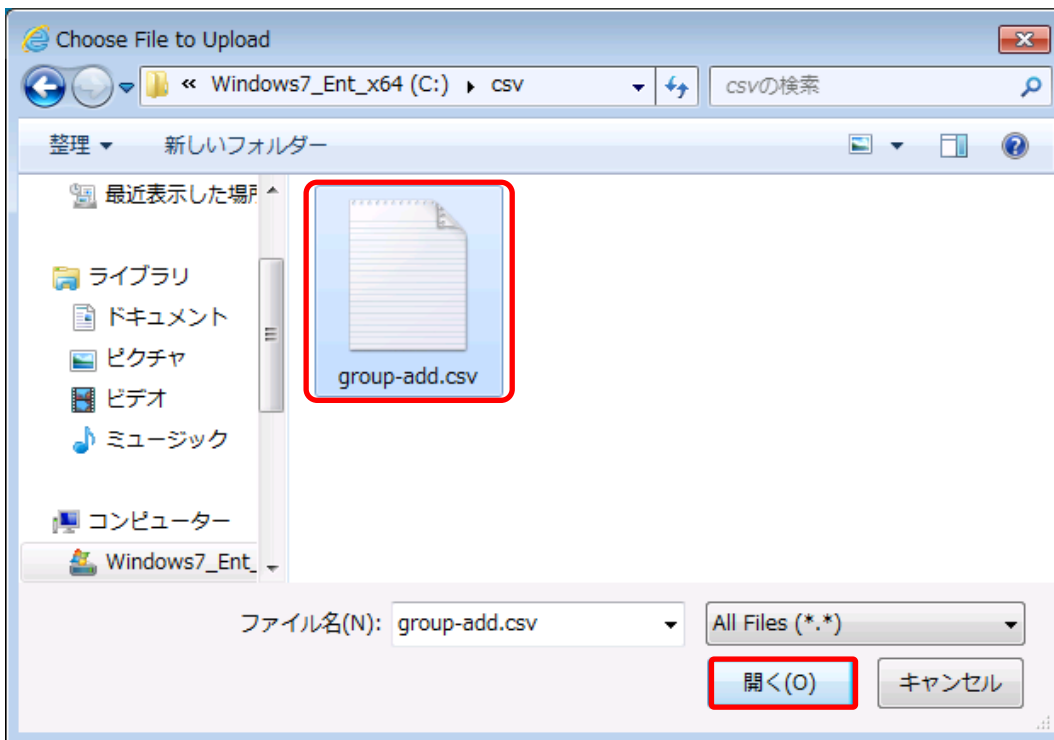


- (2) 確認画面が表示されますので、「ファイルを選択」をクリックします。



- (3) ファイルを選択する画面が表示されますので、アップロードする CSV ファイルを選択して、[開く] をクリックします。

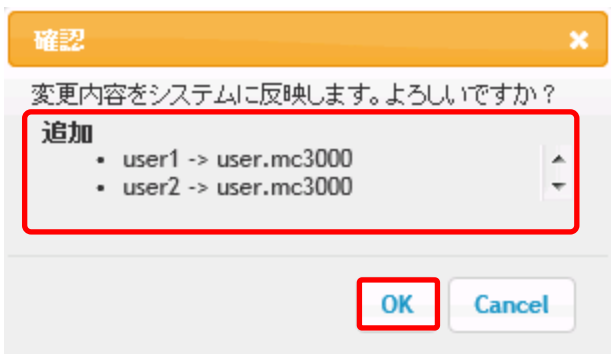
下図は「group-add.csv」を選択した場合です。



- (4) 「ファイルを選択」の横に、選択したファイルのファイル名が表示されますので、選択したファイルで問題なければ、[OK]をクリックします。




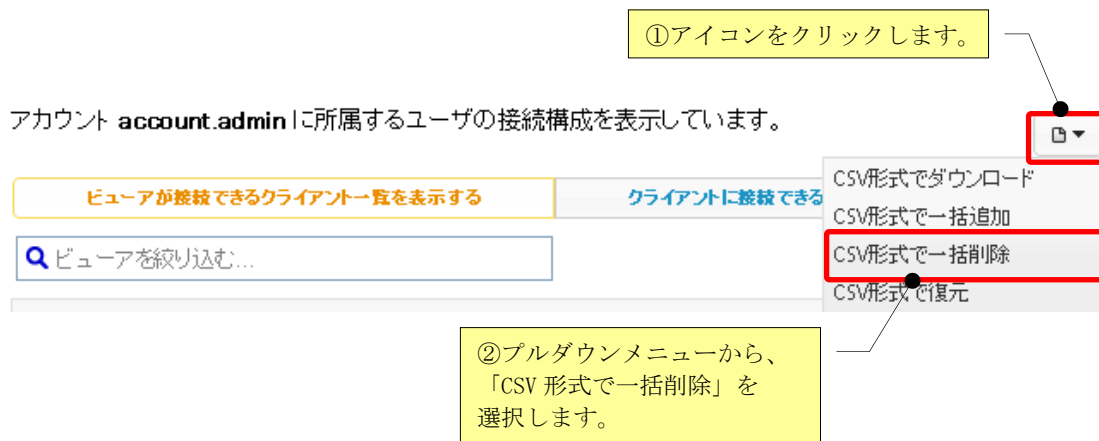
- (5) 確認メッセージが表示されますので、内容に問題がない場合は[OK]をクリックします。
既存のグループ化接続の情報を維持した上で、グループ化接続の情報が追加登録されます。



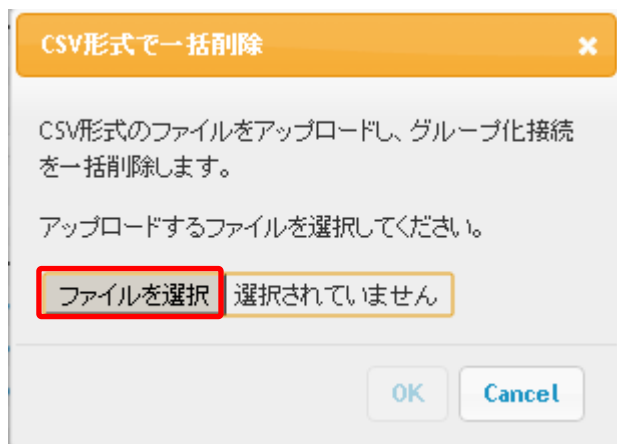
4.4.3. グループ化接続を CSV 形式で一括削除する

マジックコネクトサーバのグループ化接続の情報から、CSV 形式で用意した情報に一致するデータを削除します。

- (1) グループ化のページ右肩にある  アイコンをクリックし、表示されたプルダウンメニューから「CSV 形式で一括削除」を選択します。

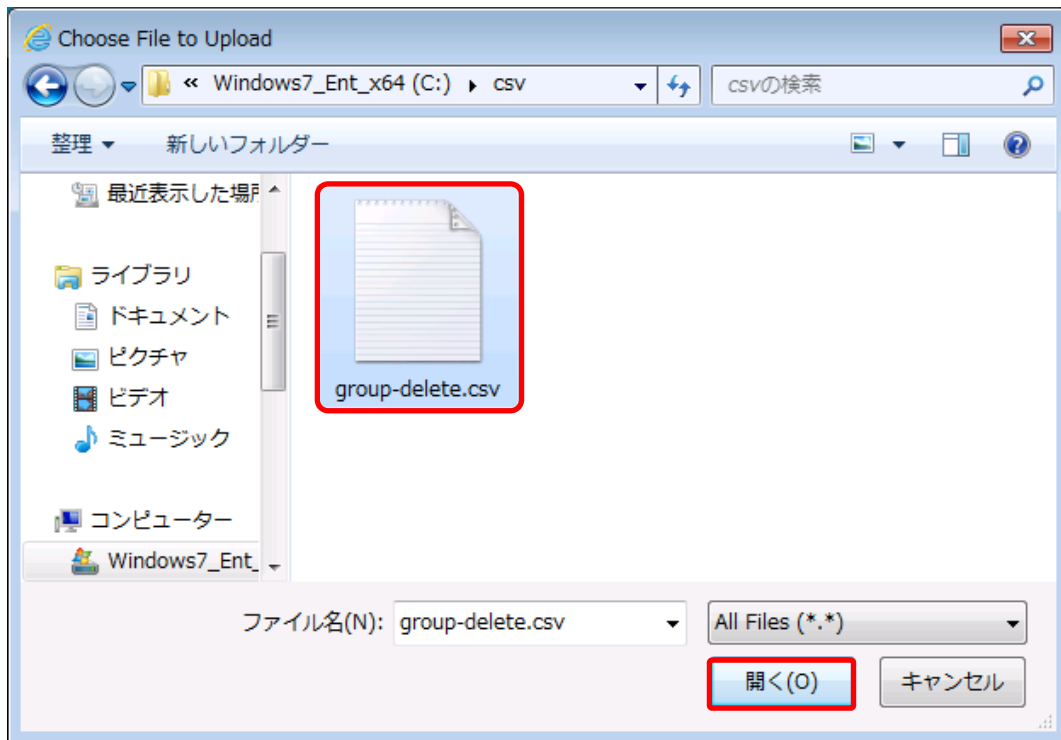


- (2) 確認画面が表示されますので、「ファイルを選択」をクリックします。



- (3) ファイルを選択する画面が表示されますので、アップロードする CSV ファイルを選択して、[開く] をクリックします。

下図は「group-delete.csv」を選択した場合です。



- (4) 「ファイルを選択」の横に、選択したファイルのファイル名が表示されますので、選択したファイルで問題なければ[OK]をクリックします。




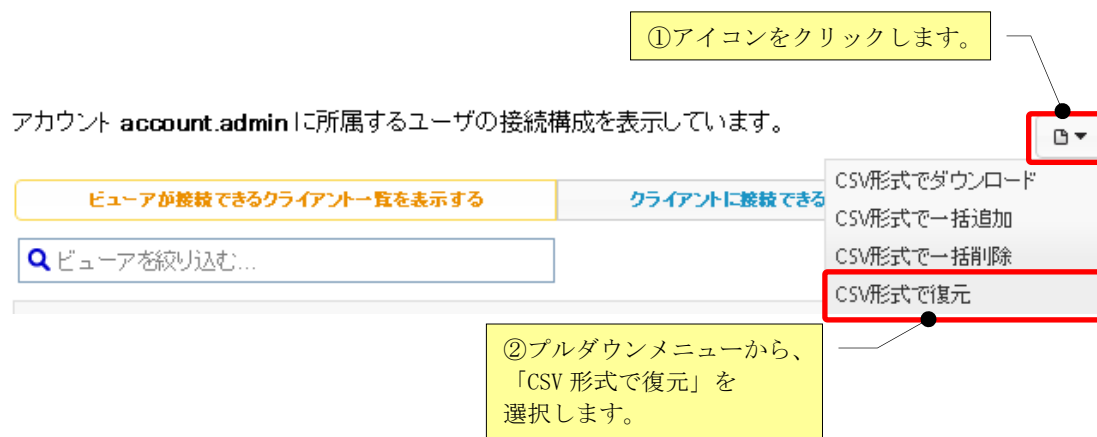
- (5) 確認メッセージが表示されますので、内容に問題がない場合は[OK]をクリックします。
マジックコネクトサーバのグループ化接続の情報から、一致するデータが削除されます。



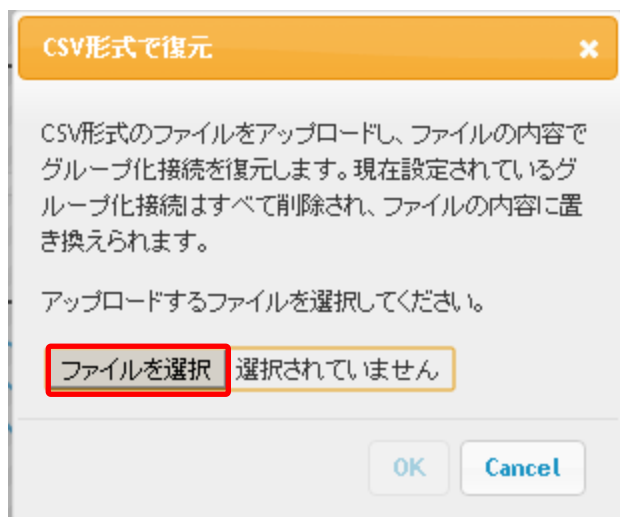
4.4.4. グループ化接続を CSV 形式で復元する

マジックコネクトサーバのグループ化接続の情報を一旦削除した後、CSV 形式で用意した情報を登録します。

- (1) グループ化のページ右肩にある  アイコンをクリックし、表示されたプルダウンメニューから「CSV 形式で復元」を選択します。

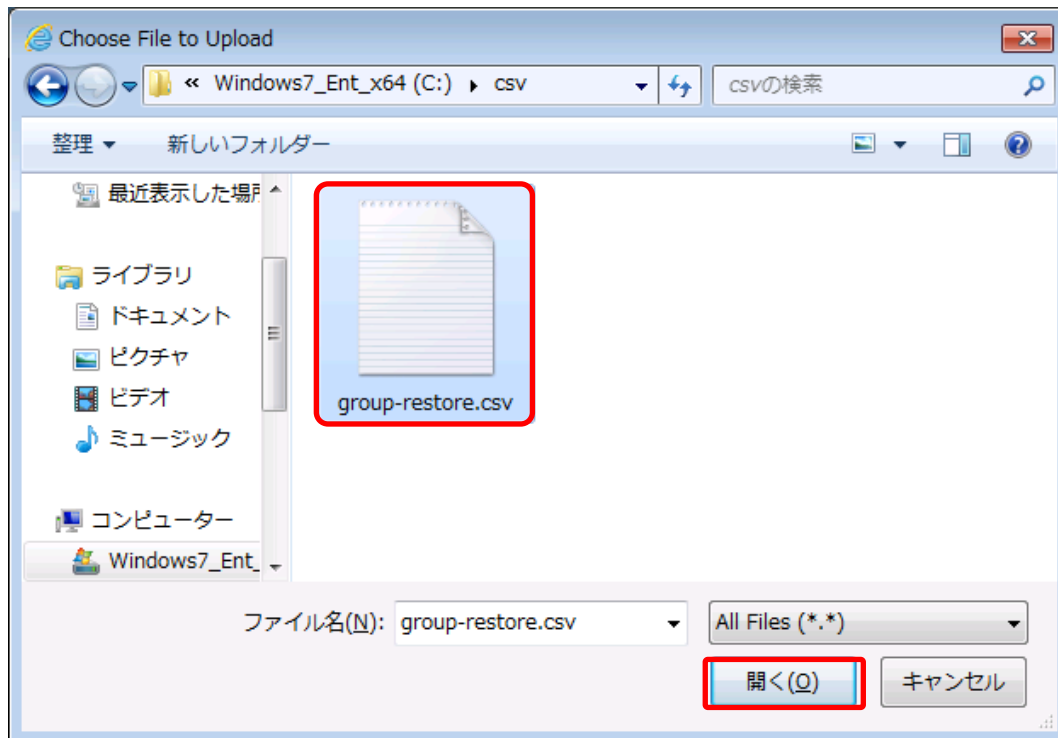


- (2) 確認画面が表示されますので、「ファイルを選択」をクリックします。

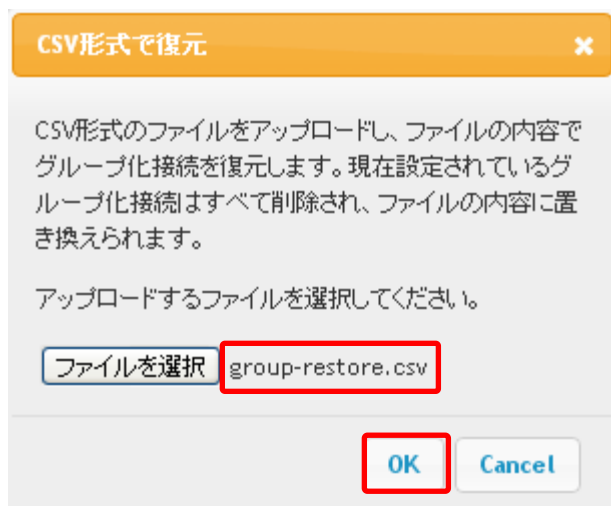


- (3) ファイルを選択する画面が表示されますので、アップロードする CSV ファイルを選択して、[開く]をクリックします。

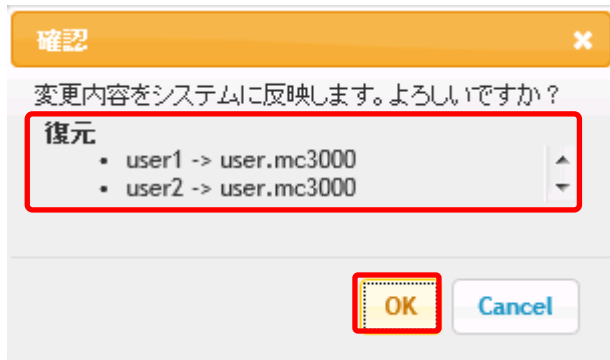
下図は「group-restore.csv」を選択した場合です。



- (4) 「ファイルを選択」の横に、選択したファイルのファイル名が表示されますので、選択したファイルで問題なければ[OK]をクリックします。



- (5) 確認メッセージが表示されますので、内容に問題がない場合は[OK]をクリックします。
マジックコネクトサーバのグループ化接続の情報を一旦削除した後、CSV形式で用意した情報が登録されます。



5. セキュリティ

アカウント管理者による管理機能へのログインのセキュリティを強化できます。下記の画面から利用する機能を選択してください。

以下の機能を利用できます。

magicConnect.

メニュー アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化 **セキュリティ** パスワード変更 ログアウト

セキュリティ

ご利用になりたいメニューを選択してください。

管理機能へのログイン制限

管理機能へのログインを IP アドレスで制限できます。

管理機能へのログイン制限

管理機能へのログインを IP アドレスで制限できます。

多要素認証

管理機能へのログインに多要素認証を設定できます。

多要素認証

管理機能へのログインに、ワンタイムパスワードアプリケーションによる多要素認証を設定できます。

5.1. 管理機能へのログイン制限.....	106
5.2. 多要素認証.....	109
5.2.1. 多要素認証とは.....	109
5.2.2. 多要素認証のセットアップ.....	110
5.2.3. ワンタイムパスワードを別のスマートフォンでも利用する.....	113
5.2.4. 多要素認証の設定解除.....	114

5.1. 管理機能へのログイン制限

アカウント管理者が管理機能へログインできるネットワークを限定する場合に、本機能を利用します。

注意) この機能は、「アカウント管理者」のユーザ名でのログインにのみ影響します。「一般ユーザ」のユーザ名でのログインには影響しません。

本機能で行った設定は、次の接続認証から有効となります。

ここでは、下記の制限設定を行う手順を説明します。

グローバル IP アドレス 203.0.113.1 と 198.51.100.1 からのログインのみ許可

- (1) 「次の IP アドレスからのログインのみ許可する」にチェックを入れます。

セキュリティ

アカウント管理者のセキュリティに関する設定を変更する場合は、下記の項目を編集し、「更新」ボタンを押してください。

中継管理サーバ	magicconnect.net	
ユーザ名	account.admin	
現在の接続元IPアドレス	203.0.113.1	
管理機能へのログイン制限	<input type="checkbox"/> 次のIPアドレスからのログインのみ許可する	
	IPアドレス	サブネットマスク
	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> / <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="button" value="削除"/>
	<input type="button" value="追加"/>	

「次の IP アドレスからのログインのみ許可する」にチェックを入れます。

- (2) 接続を許可するグローバル IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[更新]ボタンを押します。
 なお、許可するグローバル IP アドレスを追加する場合は、[追加]ボタンを押します。

セキュリティ

アカウント管理者のセキュリティに関する設定を変更する場合は、下記の項目を編集し、「更新」ボタンを押してください。

中継管理サーバ	magicconnect.net									
ユーザ名	account.admin									
現在の接続元IPアドレス	203.0.113.1									
管理機能へのログイン制限	<input checked="" type="checkbox"/> 次のIPアドレスからのログインのみ許可する									
	IPアドレス					サブネットマスク				
	203	0	113	1	/	255	255	255	255	削除
	198	51	100	1	/	255	255	255	255	削除
	追加 「現在の接続元IPアドレス」からのログインは許可されています。									

①接続を許可するグローバル IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

更新 ● 元に戻す

②[更新]を押します。

- ※サブネットマスクの設定により、ネットワークアドレス単位での制限も可能です。
- ※登録可能な IP アドレスとサブネットマスクの組は最大 10 個までです。

(3) 更新が正常に完了すると「設定は正常に更新されました。」と表示されます。

セキュリティ

設定は正常に更新されました。

中継管理サーバ	magicconnect.net
ユーザ名	account.admin
現在の接続元IPアドレス	203.0.113.1
管理機能へのログイン制限	次のIPアドレスからのログインのみ許可する 203.0.113.1/255.255.255.255 198.51.100.1/255.255.255.255

[戻る](#)

(4) 以後は、アカウント管理者用のユーザ名では、許可されたグローバル IP アドレスからしかログインできなくなります。

ユーザ認証

!!! ユーザ名かパスワードに誤りがあります。!!!



- 同じユーザ名でログイン失敗を 5 回繰り返すと、アカウントが一時的に無効化されます。
- アカウントが一時的な無効化状態になると、自動解除されるまで待機するか管理者が解除操作を実施するまで Web GUI へログインできなくなります。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名

パスワード

5.2. 多要素認証

管理機能へのログインに多要素認証を設定する場合に、本機能を利用します。本機能で行った設定は、次回の接続認証から有効となります。本機能の設定にはスマートフォンが必要です。

注意) この機能は、「アカウント管理者」のユーザ名でのログインにのみ影響します。「一般ユーザ」のユーザ名でのログインには影響しません。

5.2.1. 多要素認証とは

ユーザ名とパスワードを知っていることに加え、本人だけが所有している物（スマートフォンなど）によって本人であることを確認する認証方法です。第三者による不正利用の防止効果を向上させることができます。

管理機能は時間ベースのワンタイムパスワード(TOTP)による認証に対応しています。お使いのスマートフォンにワンタイムパスワードを発行するアプリケーションをインストールし、管理機能と連携させることで、多要素認証を利用できるようになります。

※管理機能ではワンタイムパスワードアプリケーションとして、Google Authenticator™で動作確認を行っています。

iPhone の場合 : Google Authenticator™

Android の場合 : Google 認証システム



Apple、Apple のロゴ、iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービスマークです。

Google Authenticator は Google LLC の商標です。

Android、Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

ワンタイムパスワードアプリケーションの詳細な操作方法については、本ドキュメントではご案内していません。不明な点につきましてはワンタイムアプリケーションのベンダーへご確認ください。

5.2.2. 多要素認証のセットアップ

(1) 「ワンタイムパスワードのセットアップを開始する」をクリックします。

多要素認証

ワンタイムパスワードによる多要素認証

⚠ ワンタイムパスワードによる多要素認証が設定されていません。

管理機能へのログインする際、時間ベースのワンタイムパスワード(TOTP)アプリケーションに表示される 認証コードを追加で入力することで、セキュリティを強化することができます。

ワンタイムパスワードのセットアップを開始する

「ワンタイムパスワードのセットアップを開始する」をクリックします。

(2) 下記の画面の手順にしたがって、セットアップを実施してください。

注意) この画面ではまだ設定は完了していません。

ワンタイムパスワードによる多要素認証のセットアップ

① お使いのスマートフォンに、Google Authenticator™などのワンタイムパスワードアプリケーションをインストールしてください。

以下の手順にしたがって、セットアップを実施してください。

STEP 1

ワンタイムパスワードアプリケーションをお使いのスマートフォンなどにインストールしてください。

STEP 2

② ワンタイムパスワードアプリケーションで、QRコードを読み込んでください。

ワンタイムパスワードアプリケーションを起動して、以下のQRコードを読み込んでください。



[QRコードを読み込めない場合]
[テキストコードを表示]ボタンを押して表示されるテキストコードをワンタイムパスワードアプリケーションに入力してください。

QRコードを読み込めない場合、ワンタイムパスワードアプリケーションに以下のテキストコードを入力してください。

テキストコードを表示

③ワンタイムパスワードアプリケーションに表示される6桁の認証コードを入力してください。

STEP 3

ワンタイムパスワードアプリケーションに表示されている6桁の認証コードを入力してください。

送信

④[送信]を押します。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

(3) 認証コードの検証が正常に完了すると下記の画面が表示されます。これでセットアップは完了です。

ワンタイムパスワードによる多要素認証のセットアップ完了

ワンタイムパスワードによる多要素認証のセットアップが完了しました。

[戻る](#)

(4) 以後は、アカウント管理者用のユーザ名によるログインには、ワンタイムパスワードによる多要素認証が必要となります。

スマートフォンを紛失し管理機能へアクセスできなくなった場合、ワンタイムパスワードの設定解除をサポートに依頼する必要があります。

多要素認証

ワンタイムパスワードアプリケーションに表示される6桁の認証コードを入力してください。

認証コード

ログイン

[ログイン画面に戻る](#)

5.2.3. ワンタイムパスワードを別のスマートフォンでも利用する

ワンタイムパスワードを別のスマートフォンでも利用することができます。

スマートフォンを機種変更する場合や、管理機能へログインする際に別のスマートフォンも利用できるようにする場合に活用してください。

詳しい手順はワンタイムパスワードアプリケーションにより異なります。

Google Authenticator™ (Google 認証システム)の場合、画面右上の「…」をタップし「アカウントのエクスポート」を選択します。以降の具体的な手順はアプリケーションの指示に従ってください。



5.2.4. 多要素認証の設定解除

多要素認証の設定を解除する場合、多要素認証画面で[設定を解除する]ボタンを押します。

設定を解除するとワンタイムパスワードに関する情報は初期化されます。再度ワンタイムパスワードによる多要素認証を使用するには、ワンタイムパスワードのセットアップを最初からやり直す必要があります。

※お使いのスマートフォンに登録した設定も再利用できません。セットアップ手順にしたがい、スマートフォンに再登録が必要となります。

※この手順で初期化されるのは、ワンタイムパスワードに関する情報のみです。ワンタイムパスワード以外の、管理機能で設定した情報は維持されます。

多要素認証

ワンタイムパスワードによる多要素認証

✔ ワンタイムパスワードによる多要素認証が設定されています。

設定を解除するには以下のボタンを押してください。

設定を解除すると登録された各種情報は初期化され、再度使用するにはワンタイムパスワードのセットアップを最初からやり直す必要があります。

設定を解除する

6. パスワードの変更（アカウント管理者）

ログインしているアカウント管理者のパスワードを変更する場合に利用します。

- (1) メニュー画面から、パスワードの変更をクリックします。

The screenshot shows a dark blue navigation bar at the top with the following menu items: [メニュー](#), [アクセス履歴](#), [ユーザ管理](#), [グループ化](#), [セキュリティ](#), [パスワード変更](#), and [ログアウト](#). Below this is a lighter blue header bar with the word [メニュー](#). The main content area contains the following text:
ようこそ **account.admin** さん。
このページは、MagicConnect契約アカウントのアカウント管理用メニューです。
ご利用になりたいメニューを選択してください。
The following links are listed vertically: [アクセス履歴の表示](#), [ユーザ管理](#), [グループ化](#), [セキュリティ](#), [パスワードの変更](#), and [ログアウト](#). A red rectangular box highlights the [パスワードの変更](#) link. A yellow callout box with a black border and a pointer to the red box contains the text: 「パスワードの変更」をクリックします。

(2) 現在のパスワードと新しいパスワードを入力して、[変更]を押します。

パスワード変更

パスワードを変更するには、下記の項目をすべて入力し、「変更」ボタンを押して下さい。
(パスワードは、8文字以上の長さで、半角の英大小文字と数字・記号を混在させて下さい。)

中継管理サーバ	magicconnect.net
ユーザ名	account.admin
現在のパスワード
新しいパスワード
新しいパスワード(確認)

①現在のパスワードを入力します。
②新しいパスワードを入力します。
③新しいパスワードを再入力します。
④[変更]を押します。

(3) パスワードが正常に変更されると、「パスワードは変更されました。」と表示されます。

パスワード変更

パスワードは変更されました。

正常に変更されなかった場合は、パスワードが変更できなかった理由が表示されますので、メッセージに従い、入力をやり直してください。

パスワード変更

パスワードにはアルファベット、数字、記号を混在させてください。

[戻る](#)